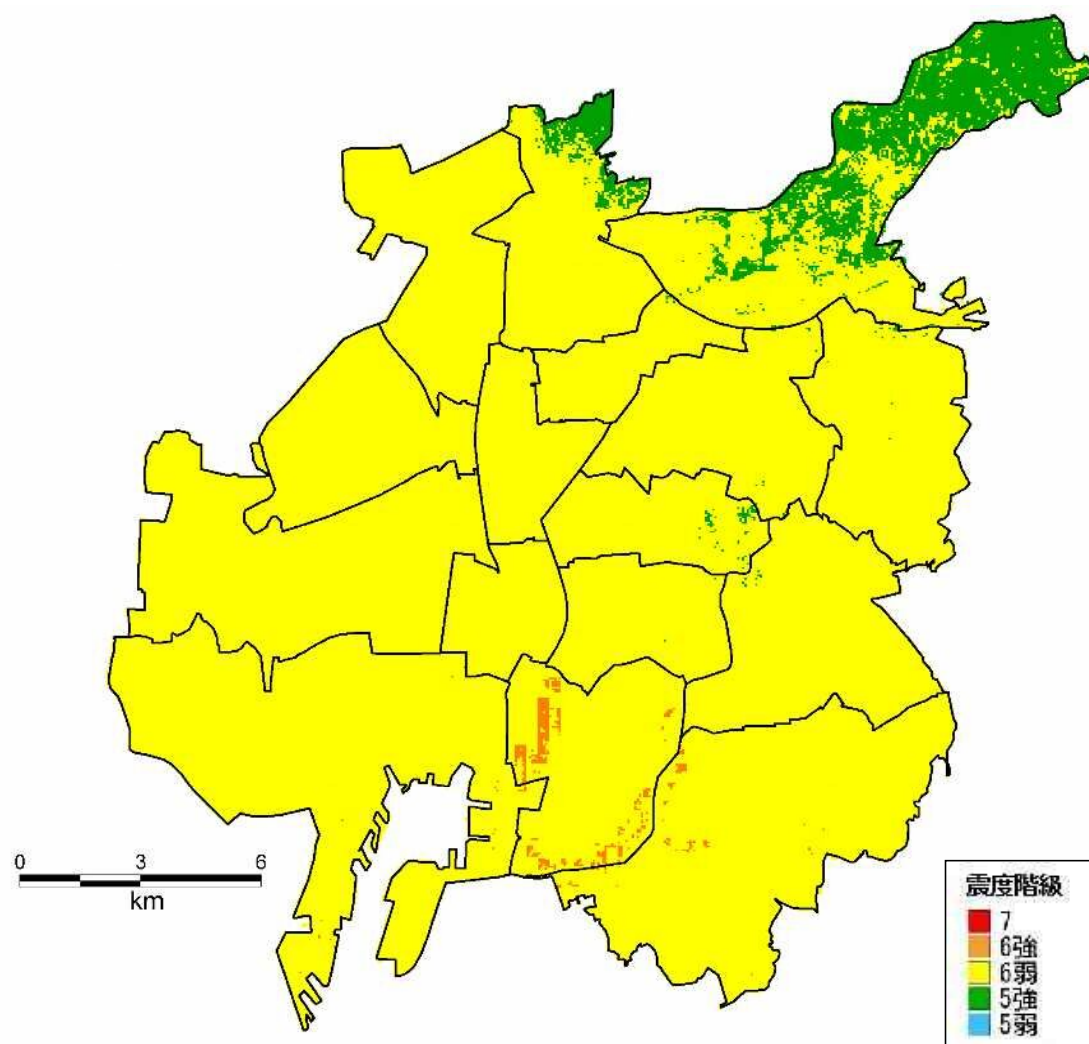
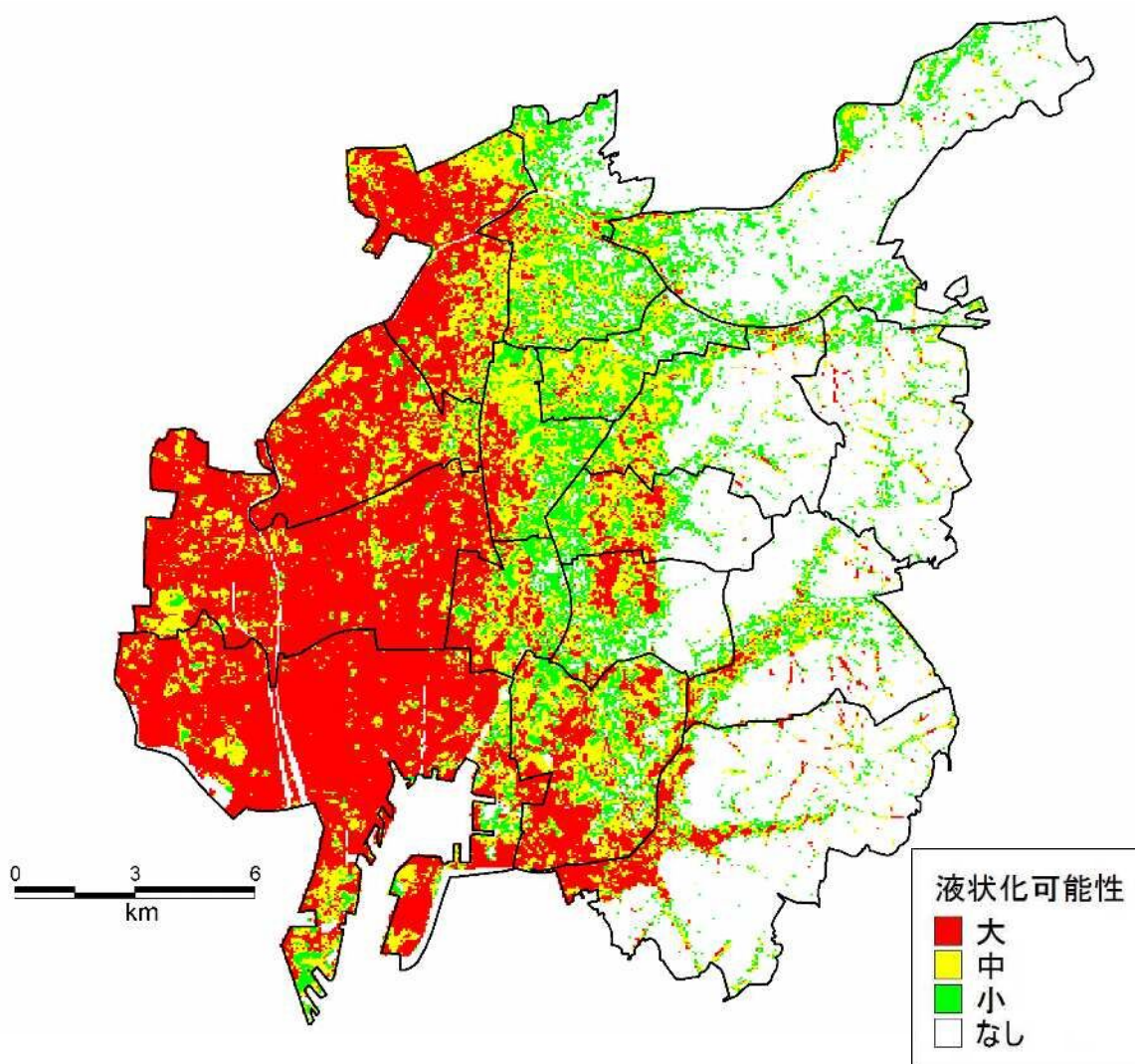


◎地震編資料1-18-1(1) 南海トラフ地震（過去地震考慮）震度分布図 (1/12)

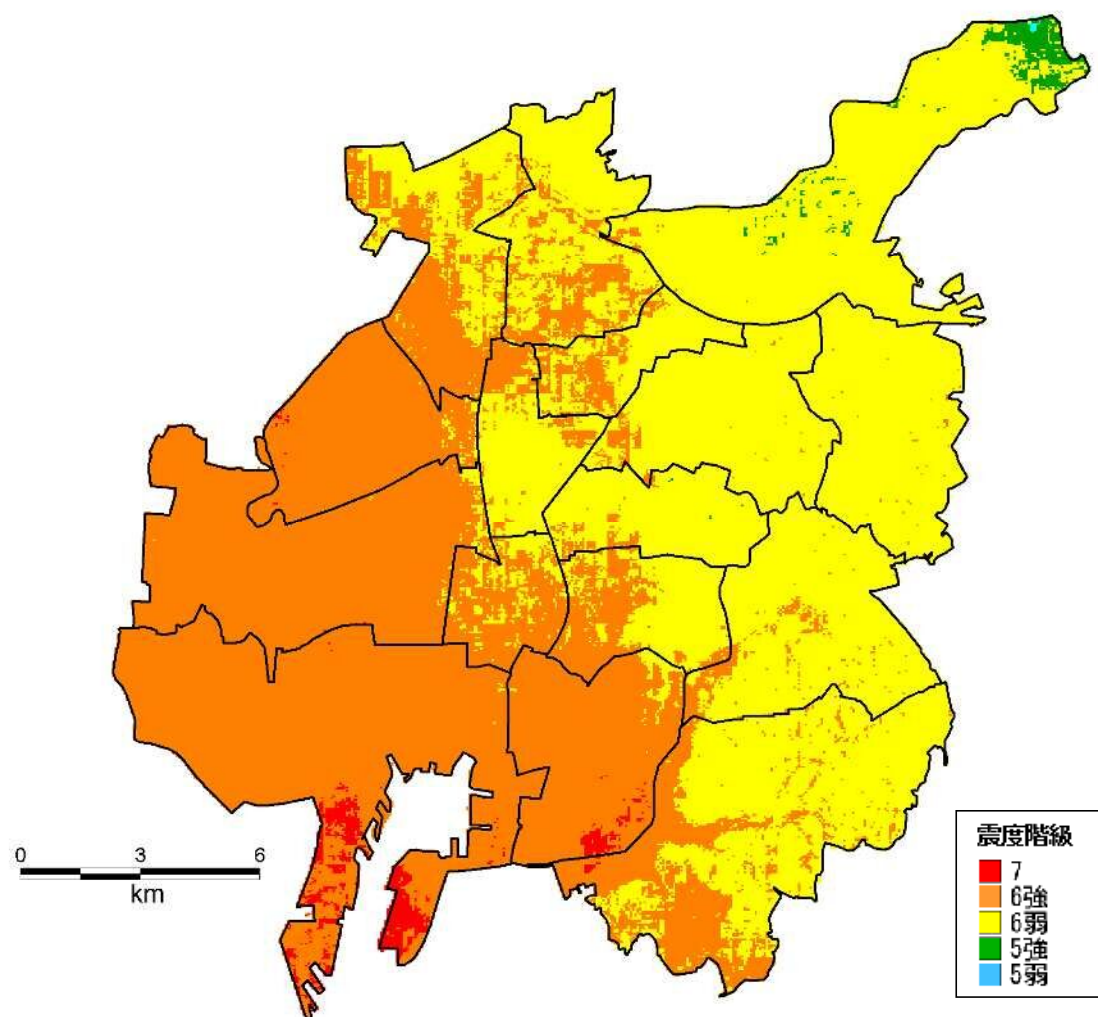


(平成24・25年度東海・東南海・南海三連動地震等の被害想定及び防災・減災対策推進のための調査  
検討業務による)

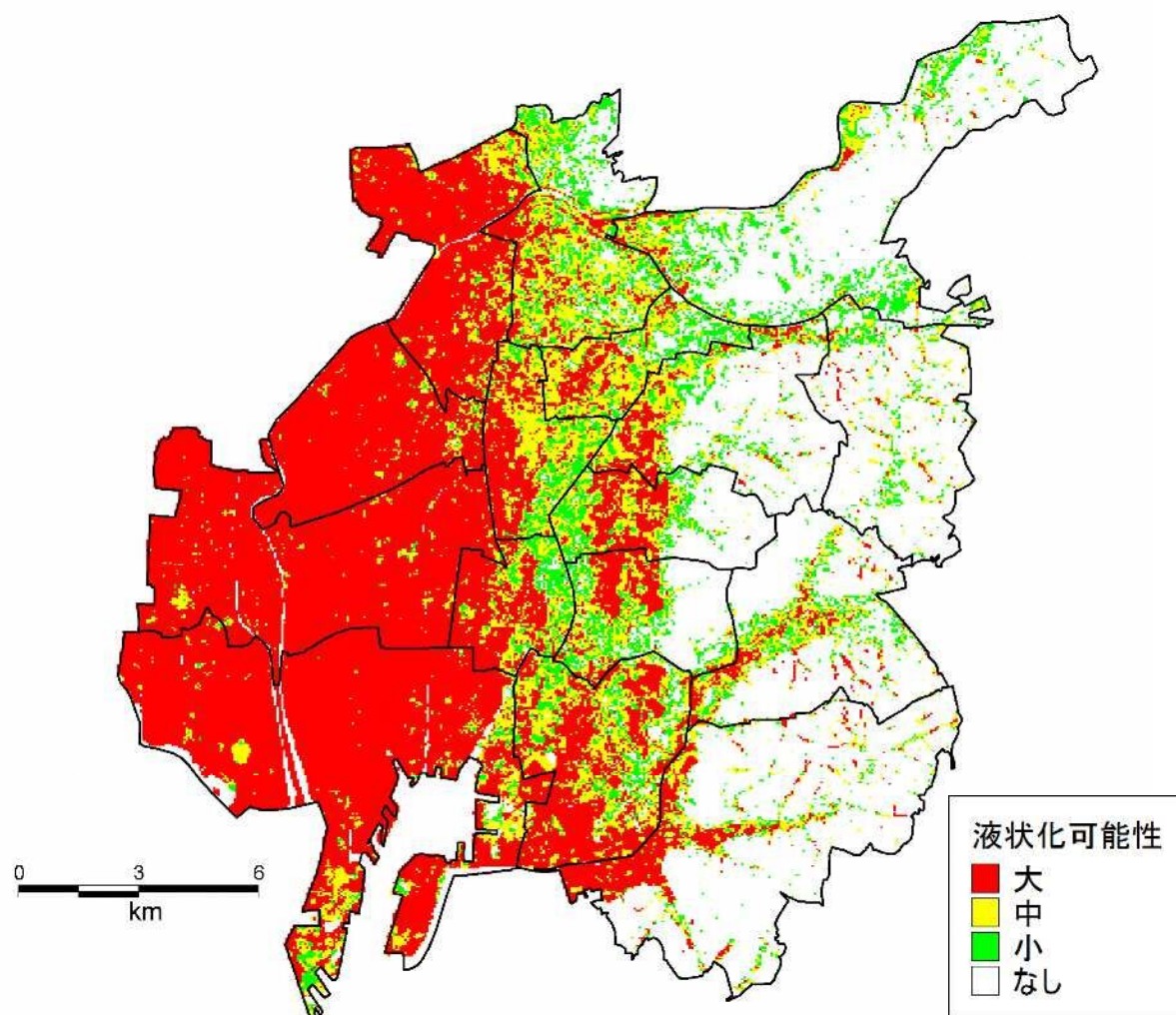


(平成24・25年度東海・東南海・南海三連動地震等の被害想定及び防災・減災対策推進のための調査  
検討業務による)

◎地震編資料1-18-1(3) 南海トラフ地震（あらゆる可能性考慮）震度分布図 (3/12)

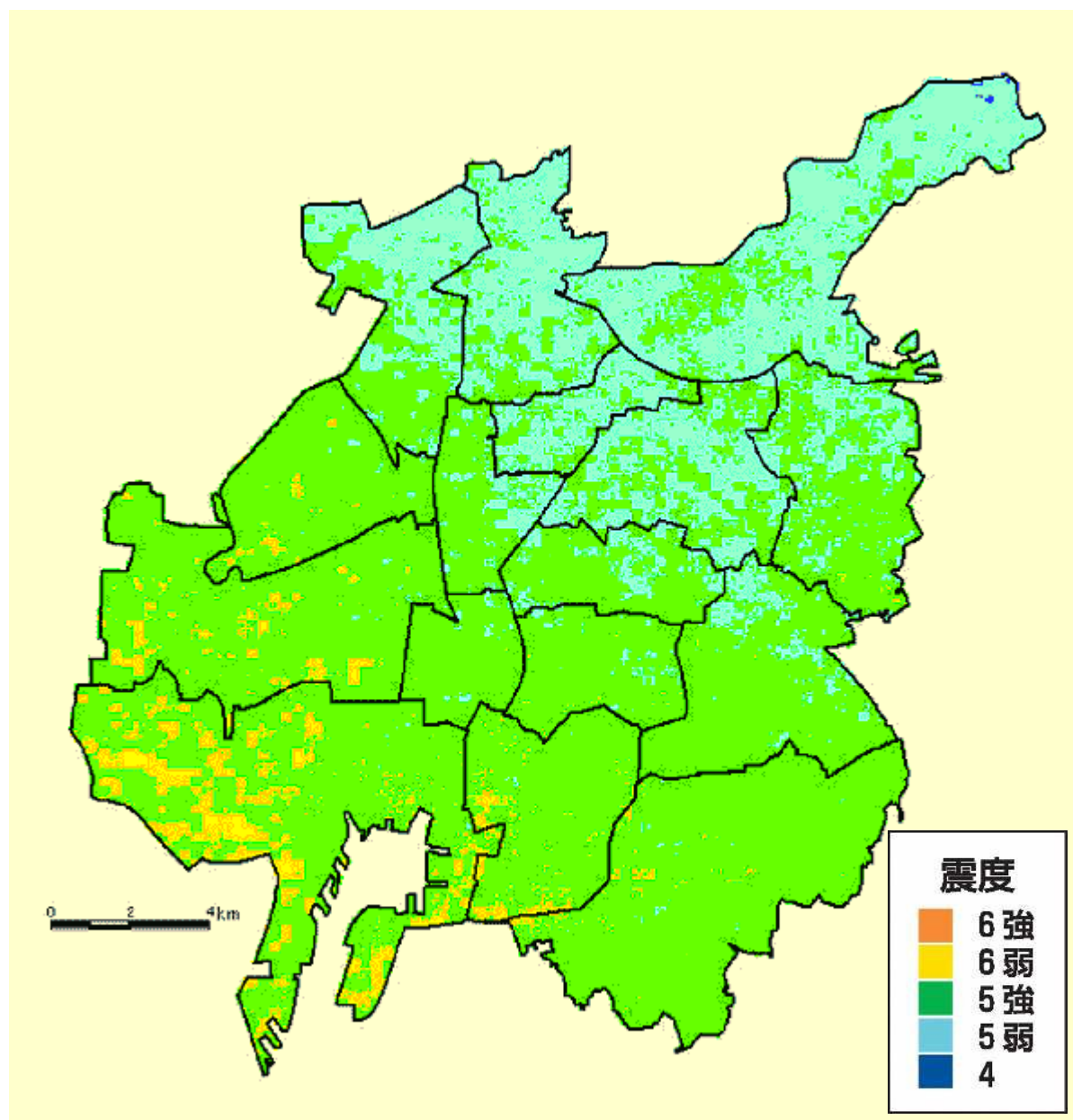


(平成24・25年度東海・東南海・南海三連動地震等の被害想定及び防災・減災対策推進のための調査  
検討業務による)

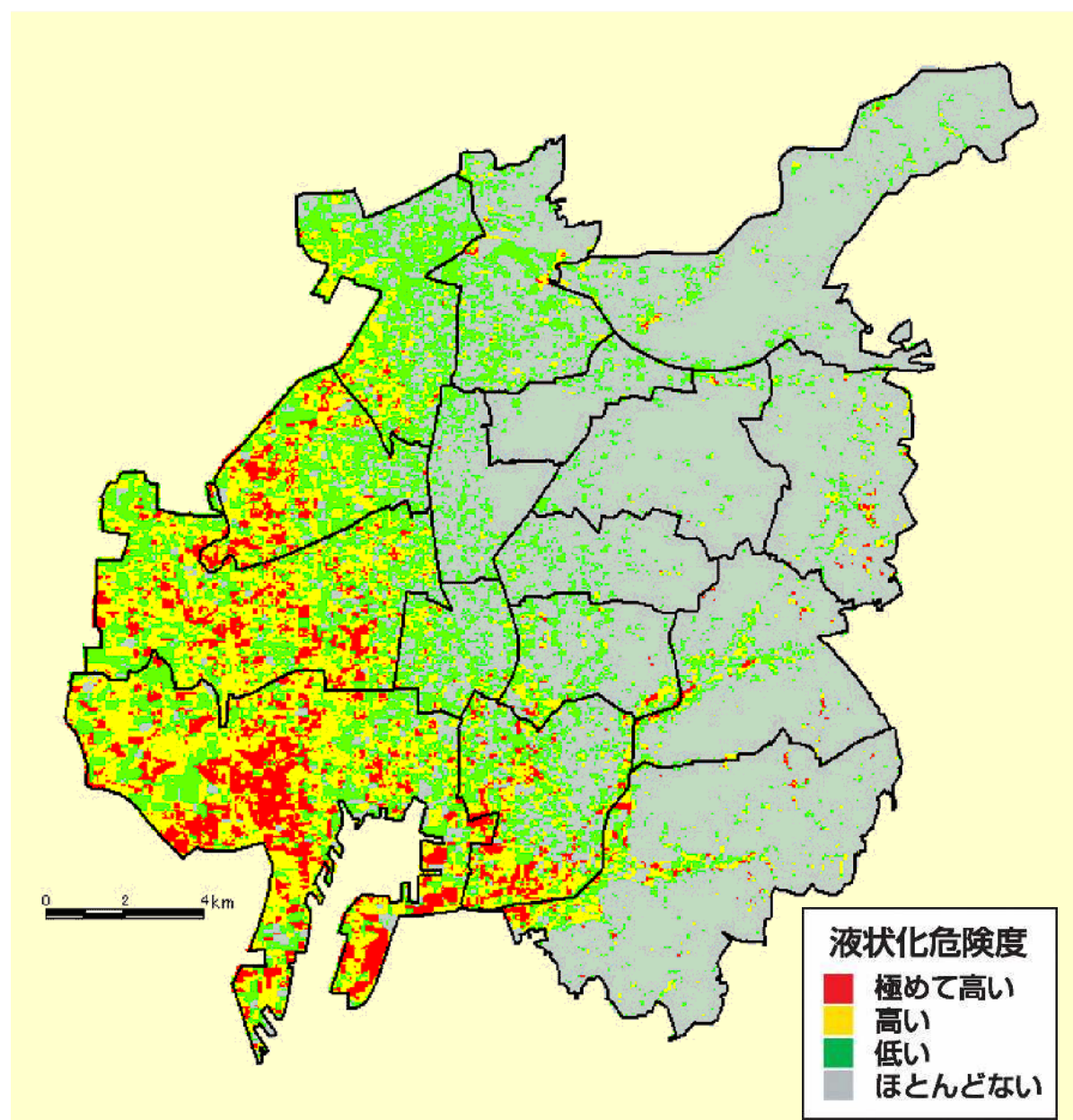


(平成24・25年度東海・東南海・南海三連動地震等の被害想定及び防災・減災対策推進のための調査  
検討業務による)

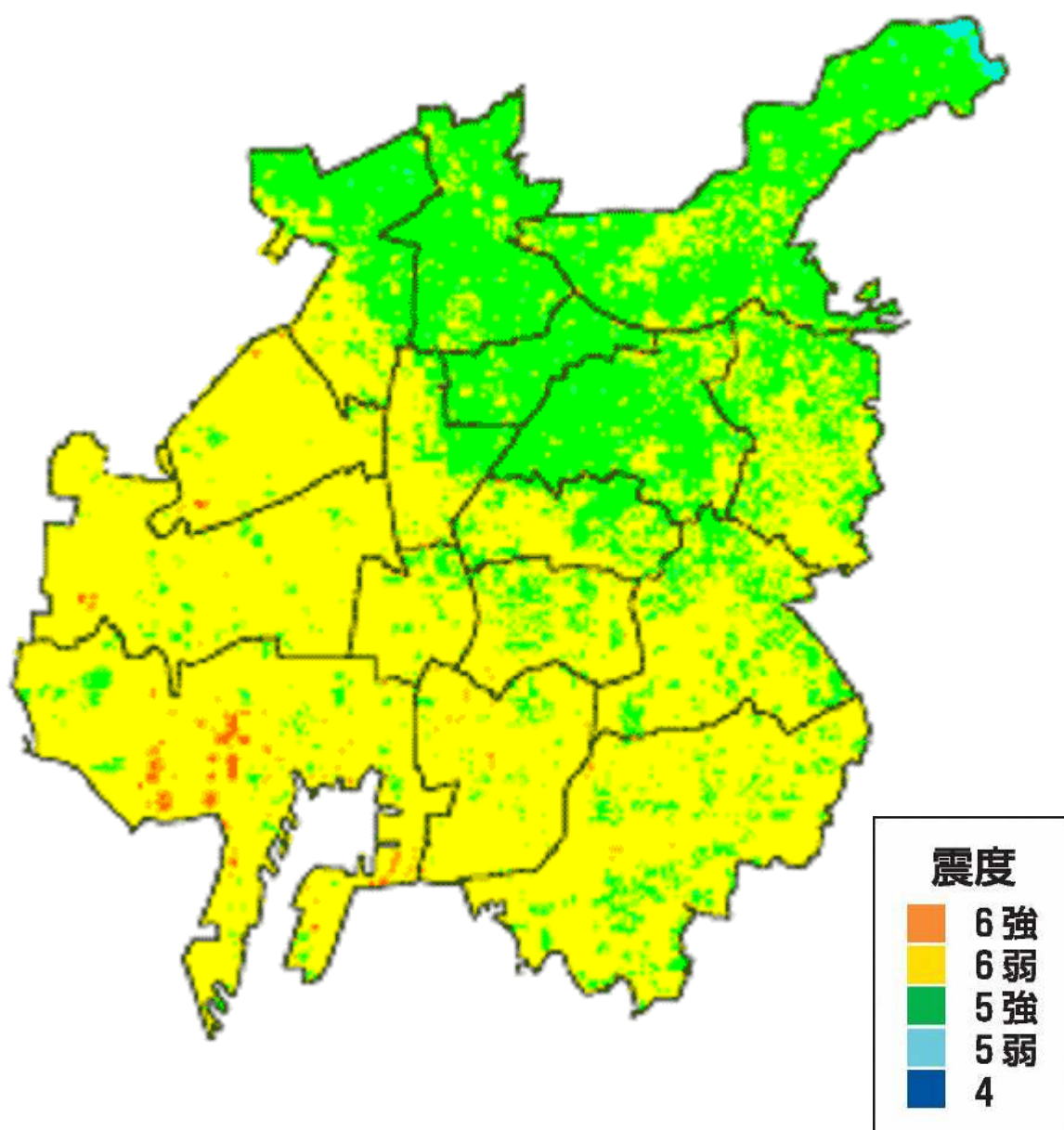




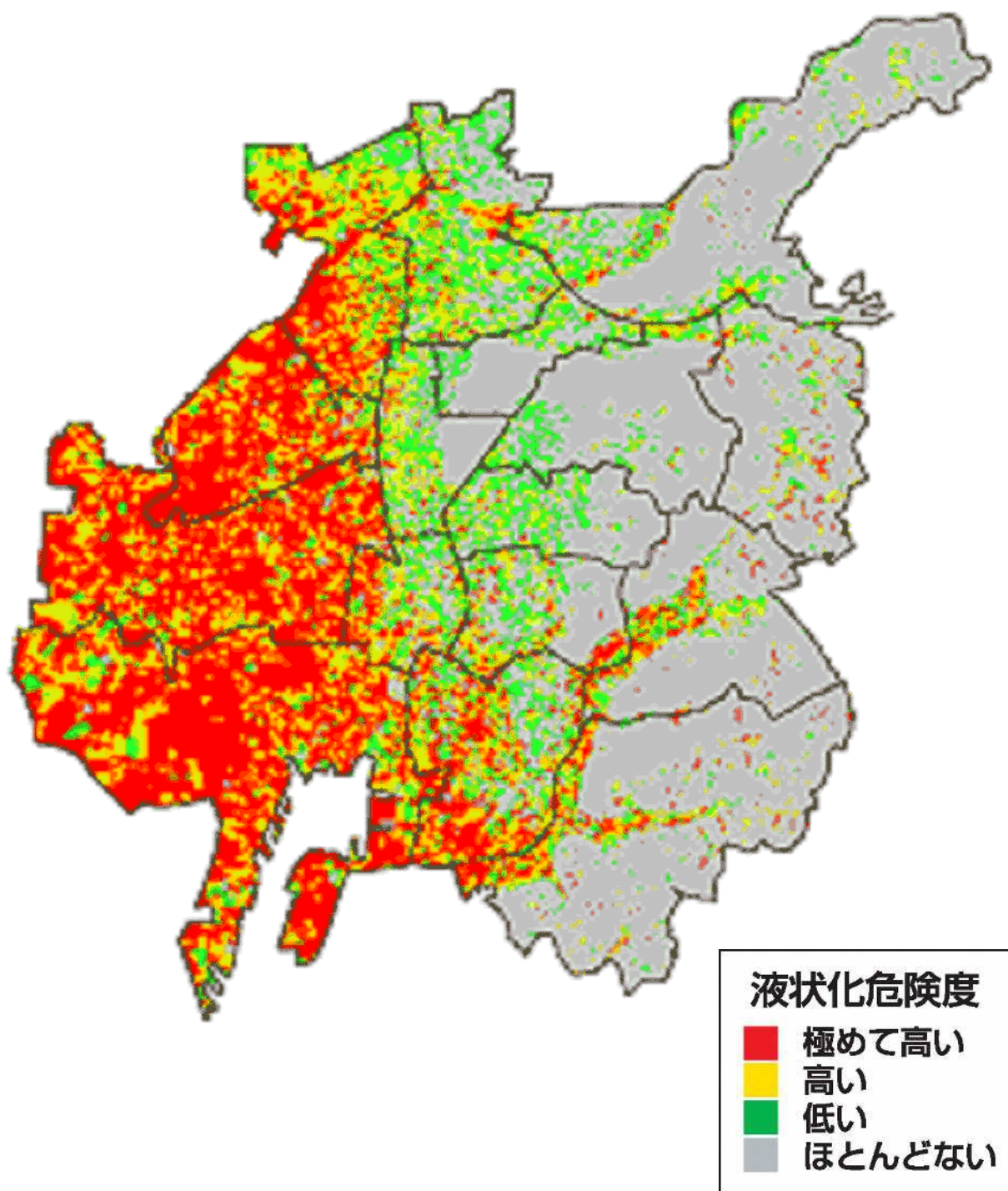
(平成15年度東海地震等震度分布予測調査による)



(平成15年度東海地震等震度分布予測調査による)

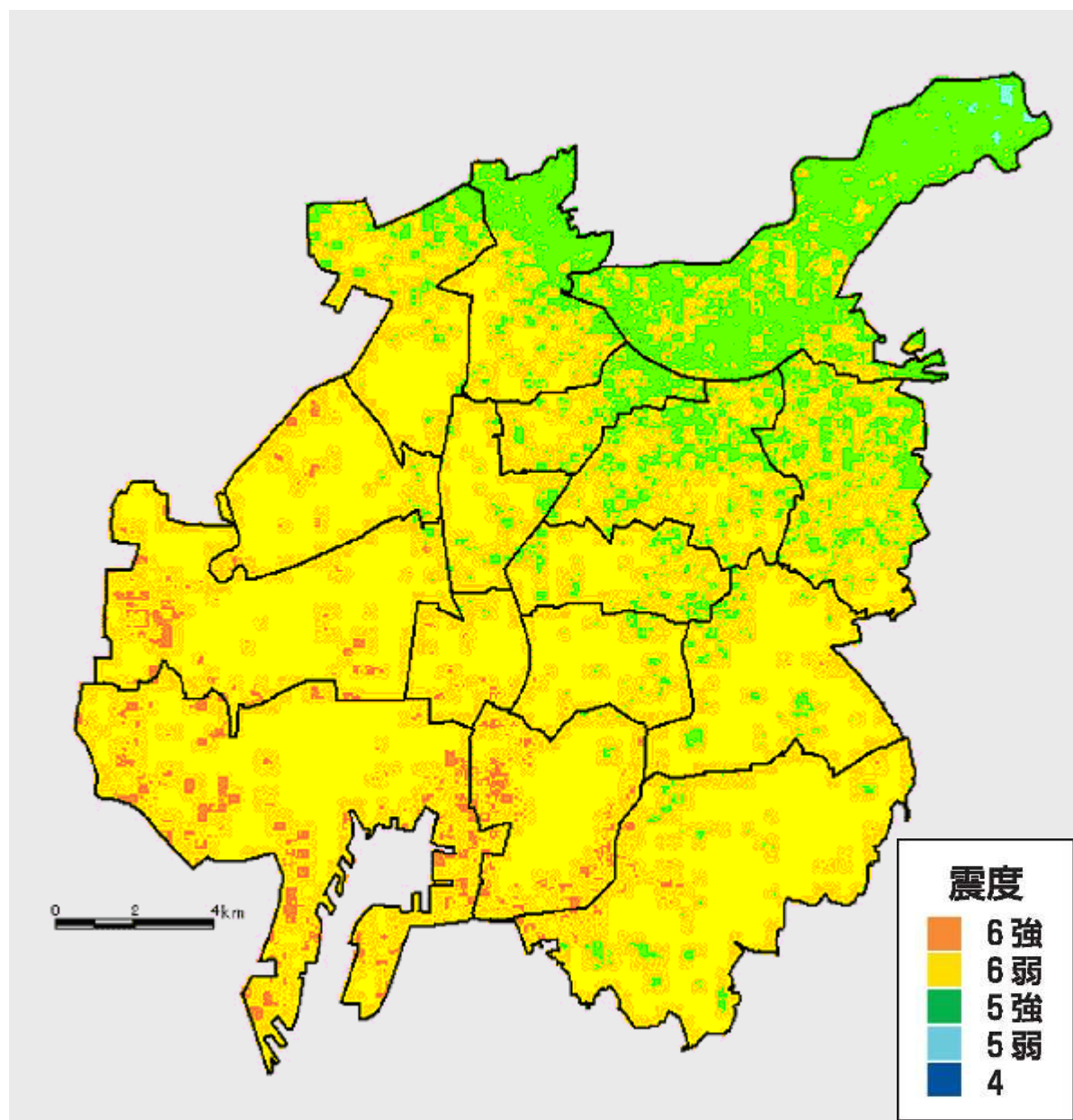


(平成15年度東海地震等震度分布予測調査による)

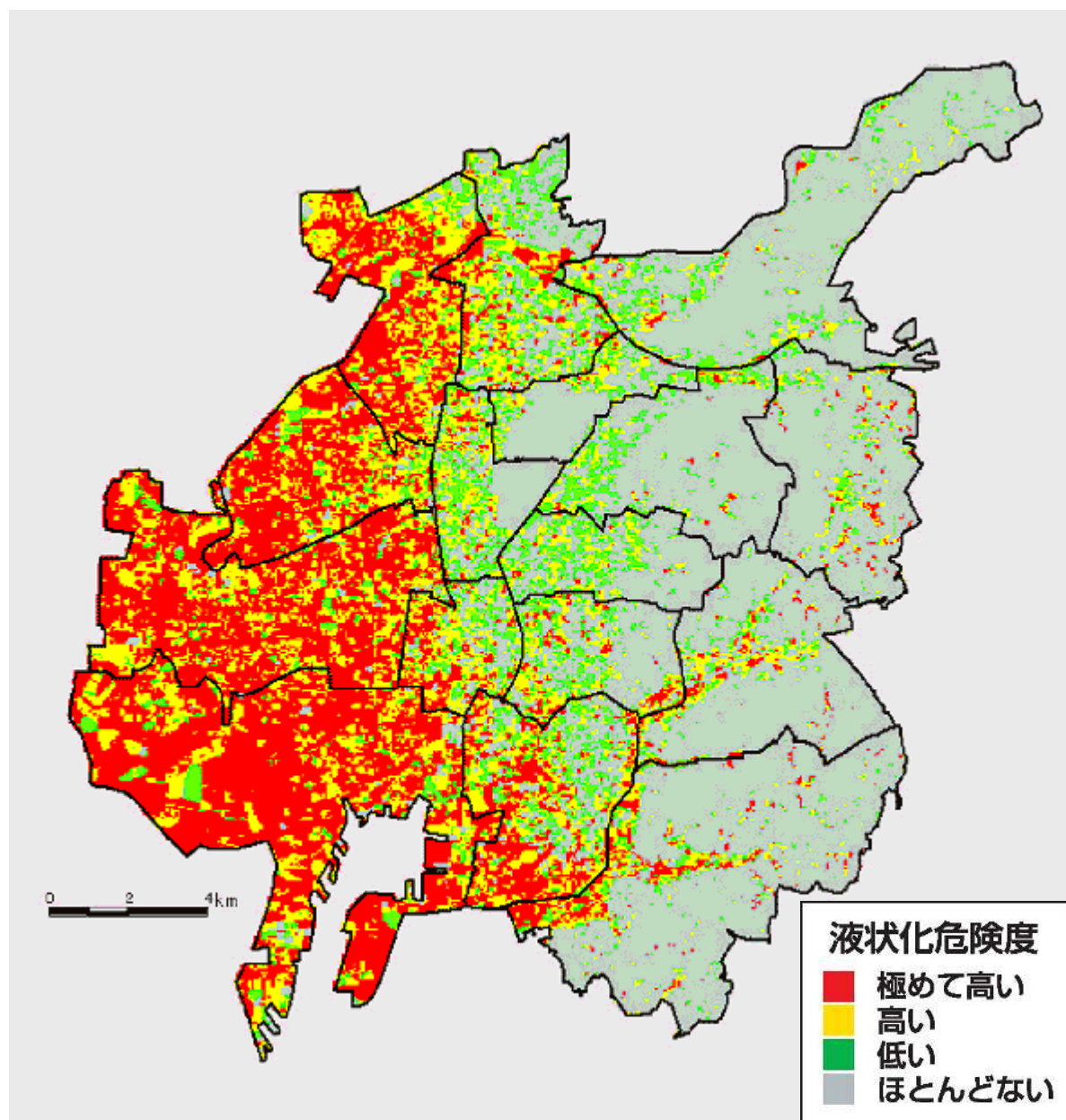


(平成15年度東海地震等震度分布予測調査による)

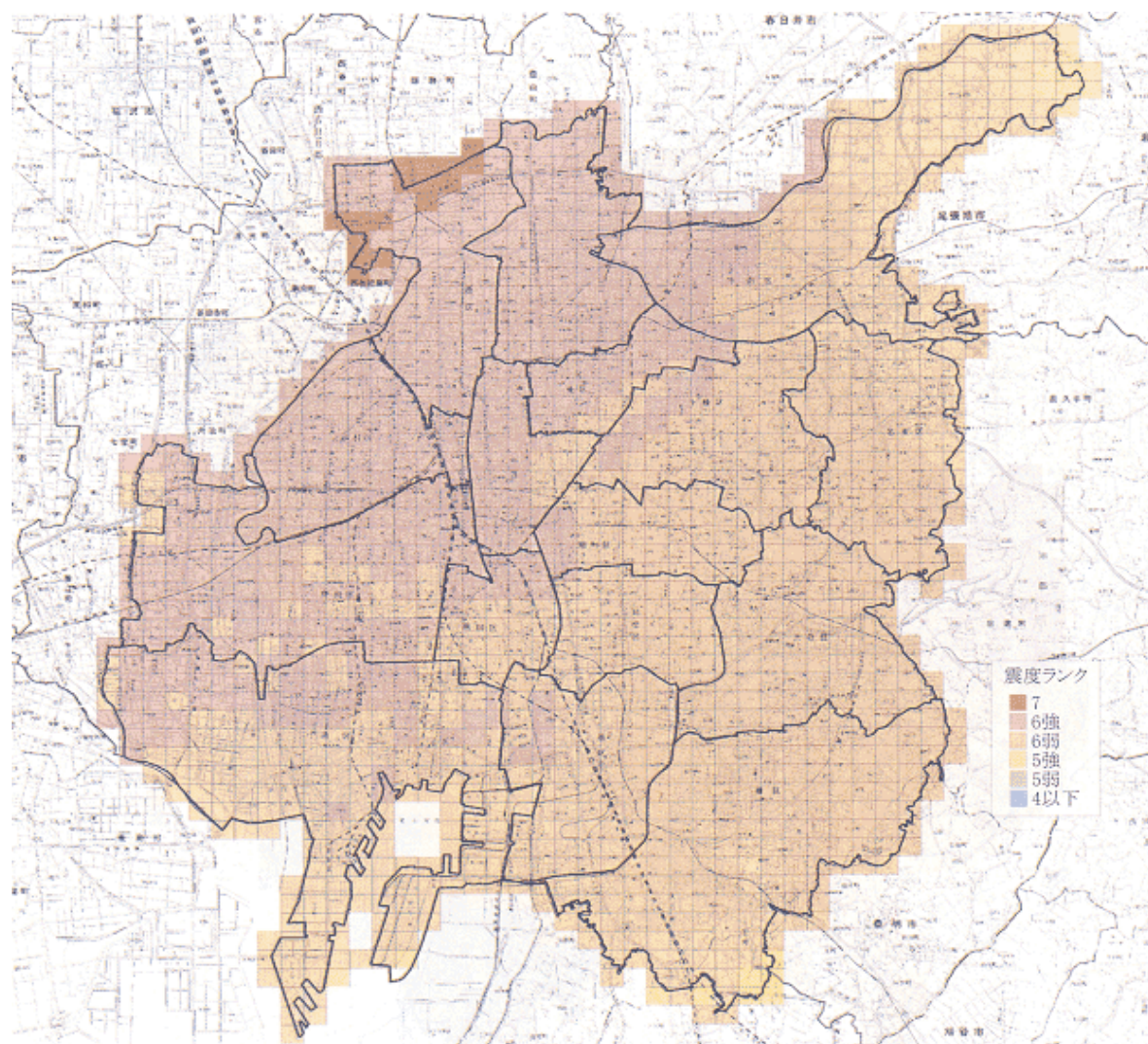




(平成15年度東海地震等震度分布予測調査による)

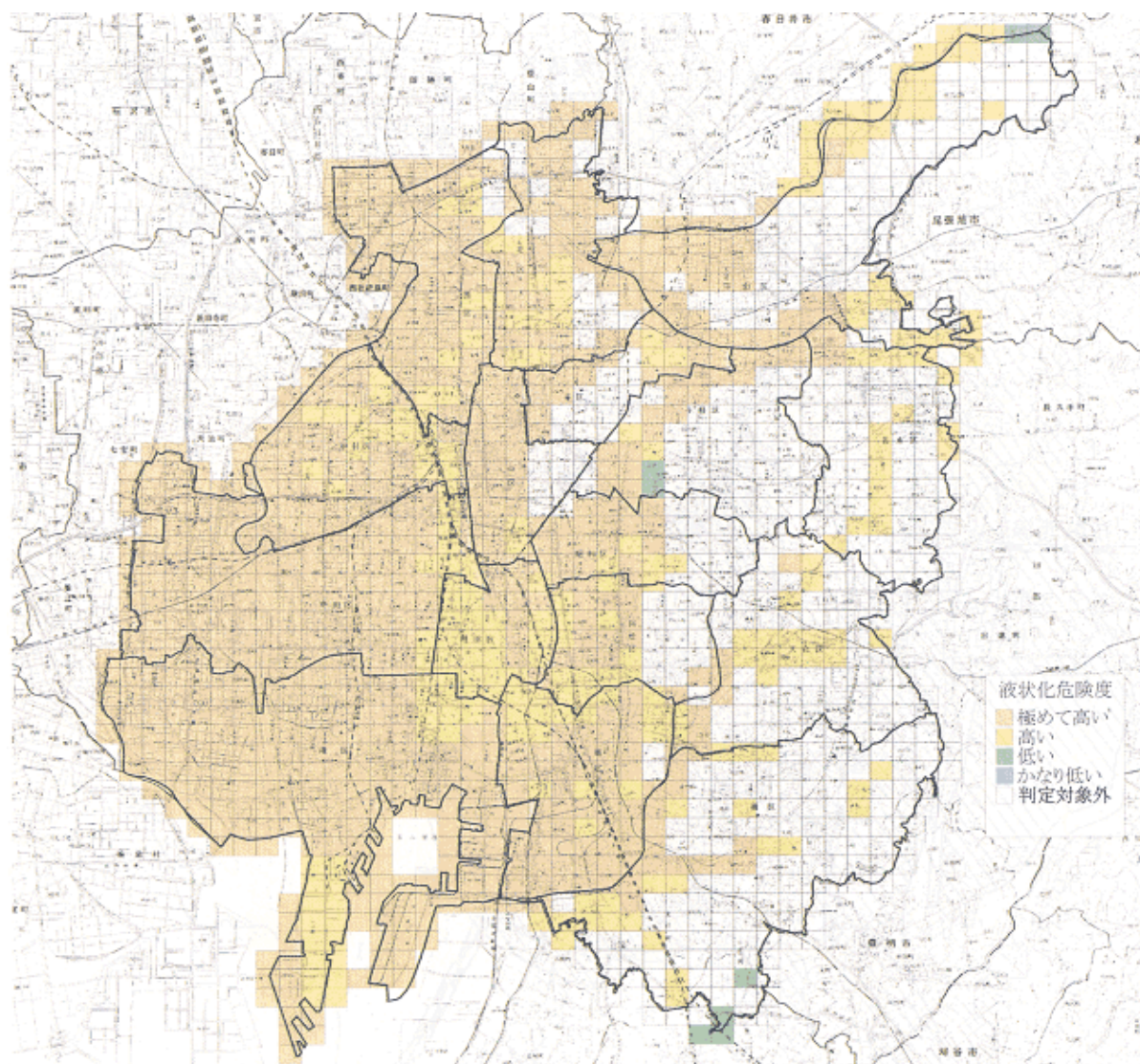


(平成15年度東海地震等震度分布予測調査による)



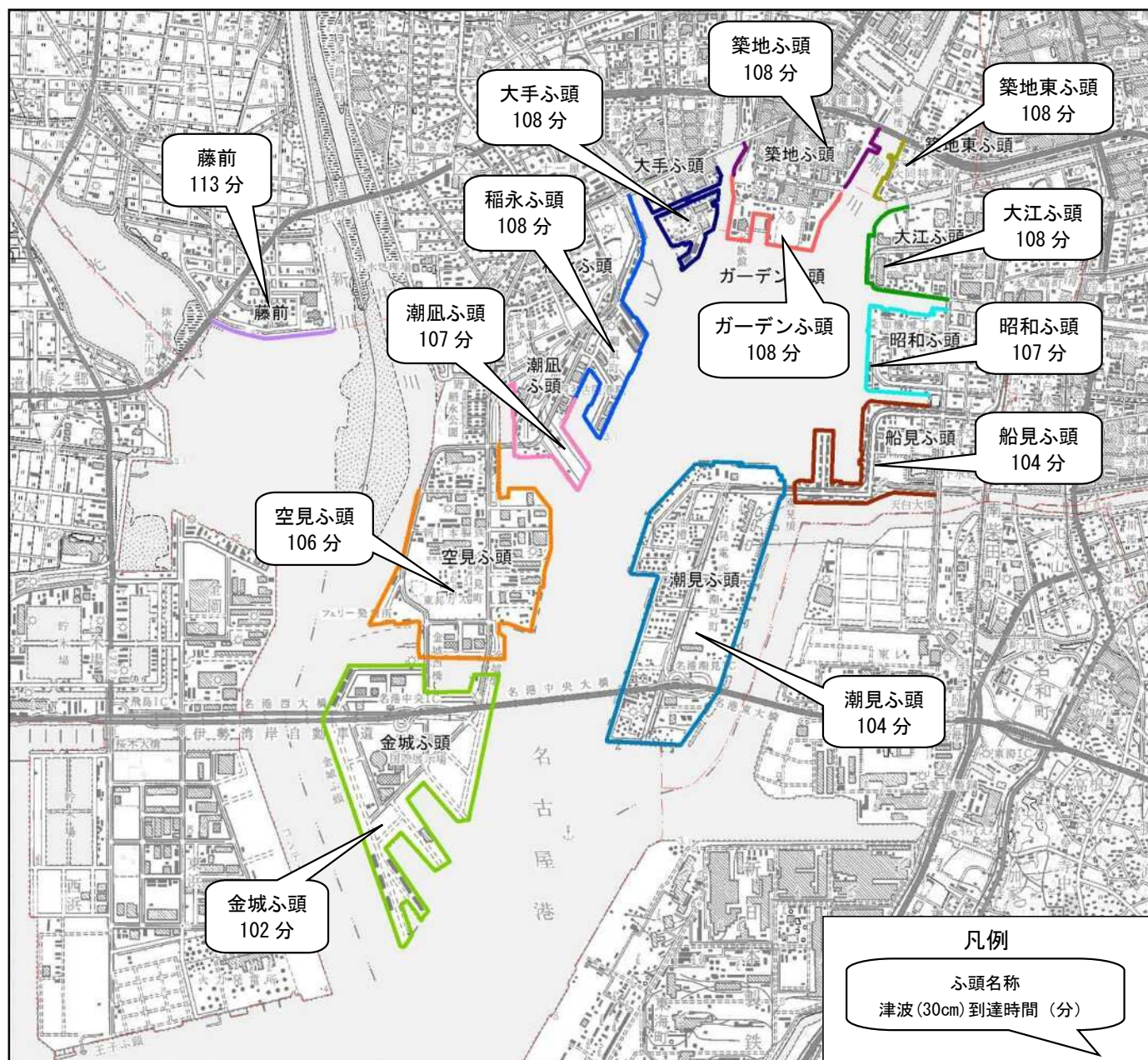
平成10年度 名古屋市地震被害想定調査報告書（修正版）による





平成10年度 名古屋市地震被害想定調査報告書（修正版）による

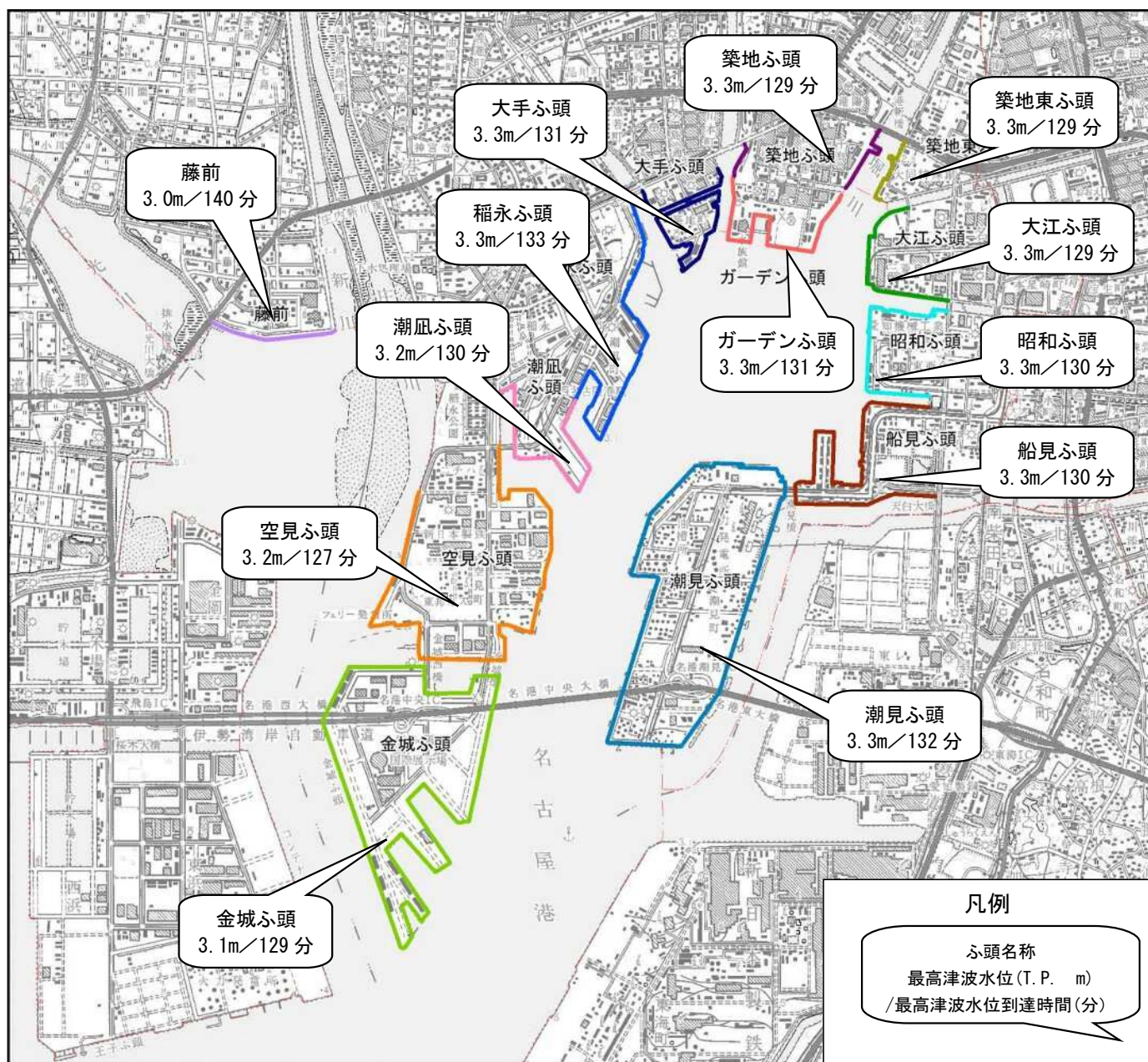




この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000（地図画像）を複製したものである。  
（承認番号 平 25 情復、第 831 号）この地図をさらに複製する場合には、国土地理院の長の承認を得ること。

（平成24・25年度東海・東南海・南海三連動地震等の被害想定及び防災・減災対策推進のための調査  
検討業務による）

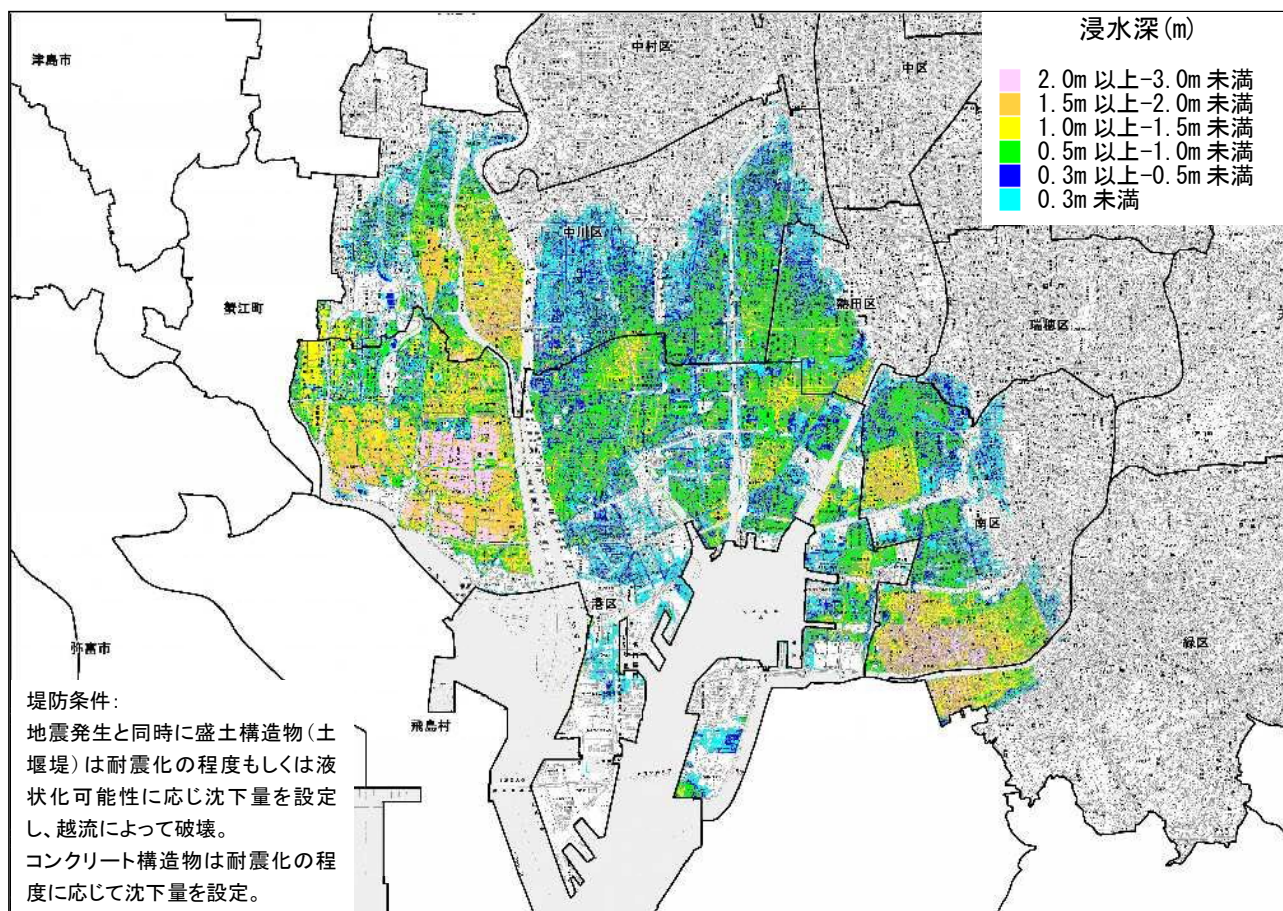




この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000（地図画像）を複製したものである。  
 （承認番号 平 25 情複、第 831 号）この地図をさらに複製する場合には、国土地理院の長の承認を得ること。

（平成24・25年度東海・東南海・南海三連動地震等の被害想定及び防災・減災対策推進のための調査  
 検討業務による）

◎地震編資料1-18-2 南海トラフ地震（過去地震考慮）浸水範囲図 (3/8)

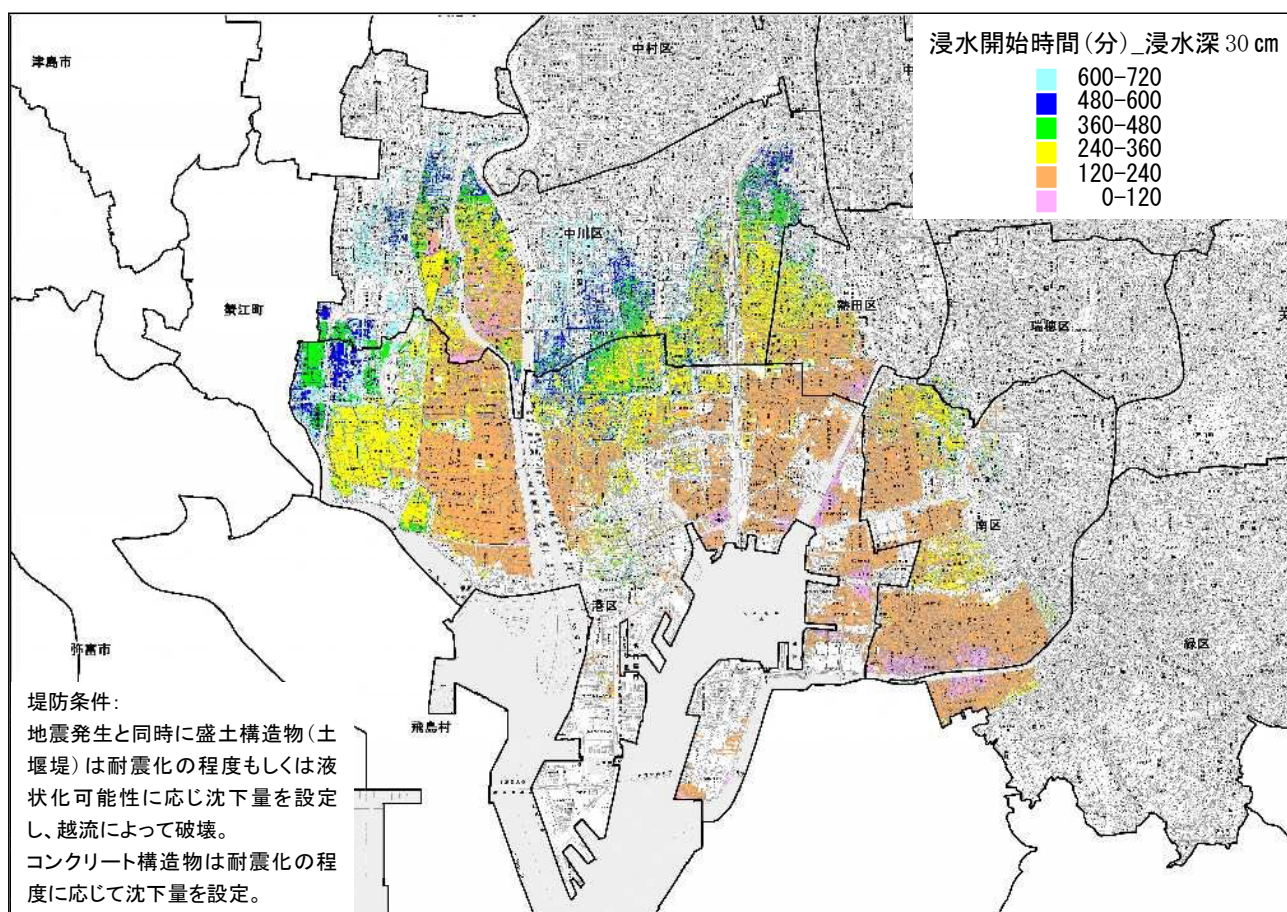


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000（地図画像）を複製したものである。  
（承認番号 平 25 情複、第 831 号）この地図をさらに複製する場合には、国土地理院の長の承認を得ること。

（平成24・25年度東海・東南海・南海三連動地震等の被害想定及び防災・減災対策推進のための調査  
検討業務による）



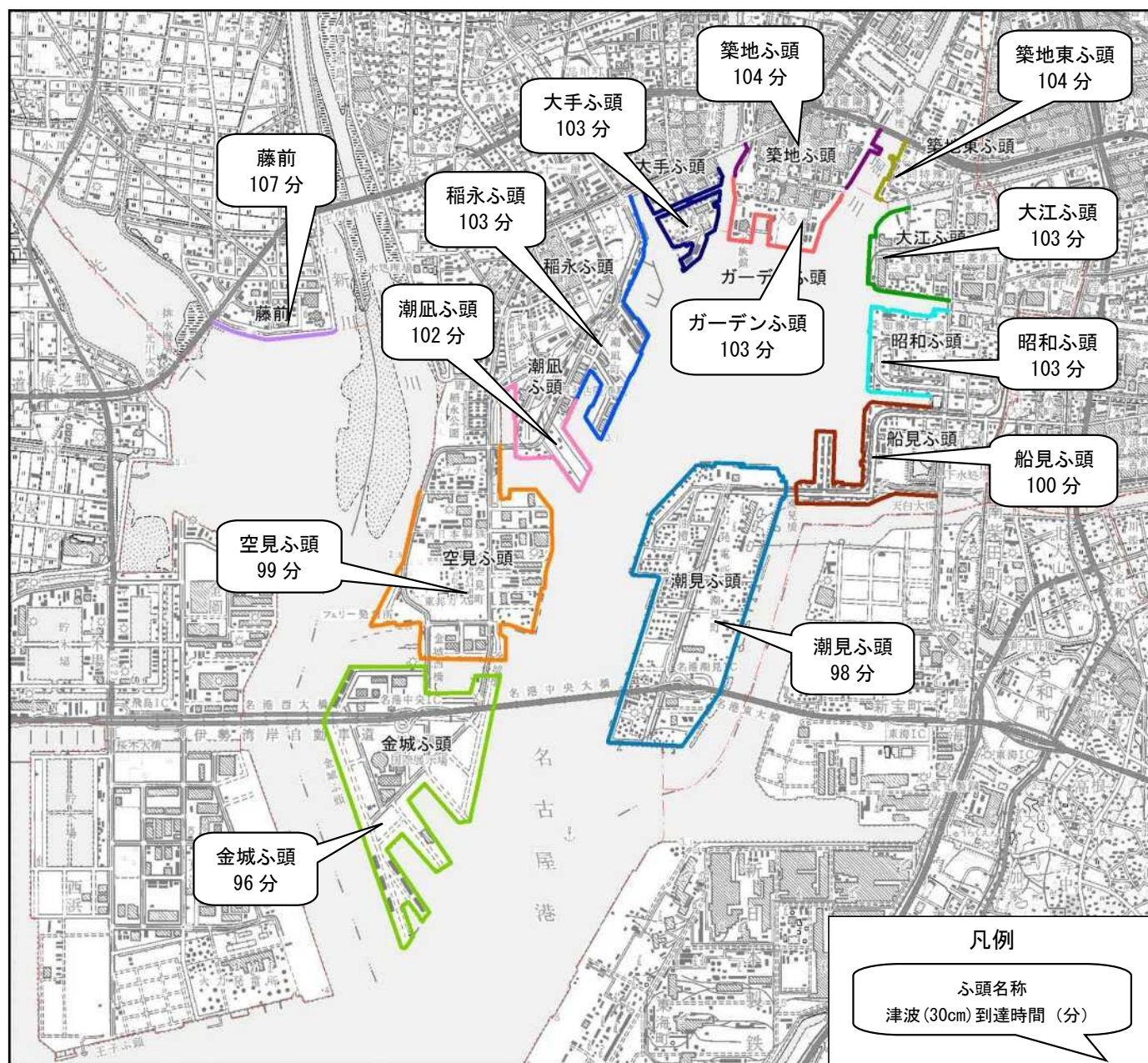
◎地震編資料1-18-2 南海トラフ地震（過去地震考慮）浸水開始時間図 (4/8)



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000（地図画像）を複製したものである。  
（承認番号 平 25 情複、第 831 号）この地図をさらに複製する場合には、国土地理院の長の承認を得ること。

（平成24・25年度東海・東南海・南海三連動地震等の被害想定及び防災・減災対策推進のための調査  
検討業務による）

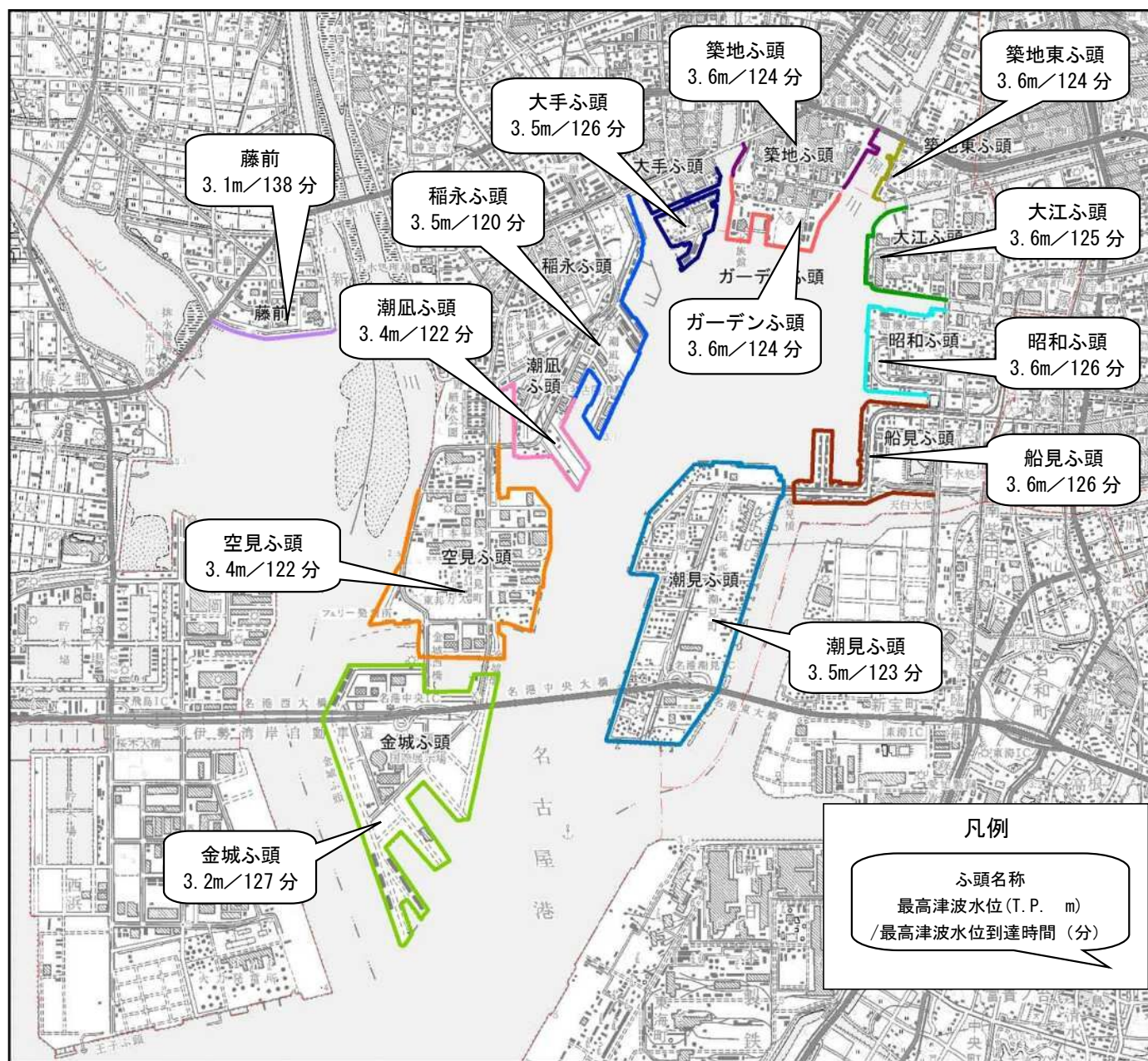




この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000（地図画像）を複製したものである。  
 （承認番号 平 25 情複、第 831 号）この地図をさらに複製する場合には、国土地理院の長の承認を得ること。

（平成24・25年度東海・東南海・南海三連動地震等の被害想定及び防災・減災対策推進のための調査  
 検討業務による）

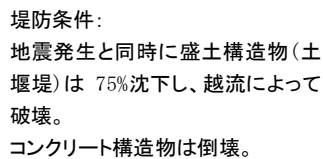




この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000（地図画像）を複製したものである。  
（承認番号 平 25 情復、第 831 号）この地図をさらに複製する場合には、国土地理院の長の承認を得ること。

（平成24・25年度東海・東南海・南海三連動地震等の被害想定及び防災・減災対策推進のための調査  
検討業務による）

(7/8)

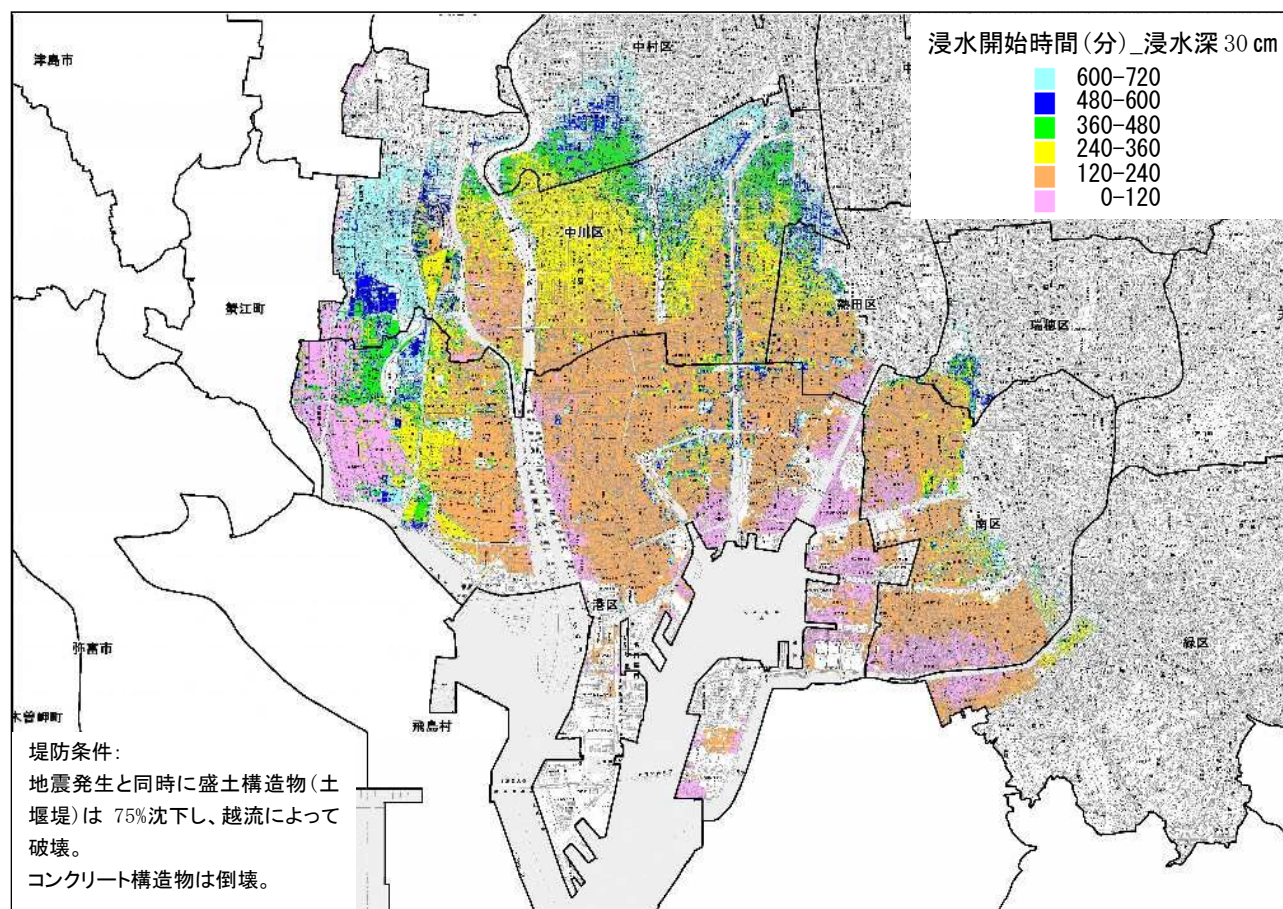


(承認番号 平 25 情複、第 831 号) この地図をさらに複製する場合には、国土地理院の長の承認を得ること。

検討業務による)



◎地震編資料1-18-2 南海トラフ地震（あらゆる可能性考慮）浸水開始時間図 (8/8)

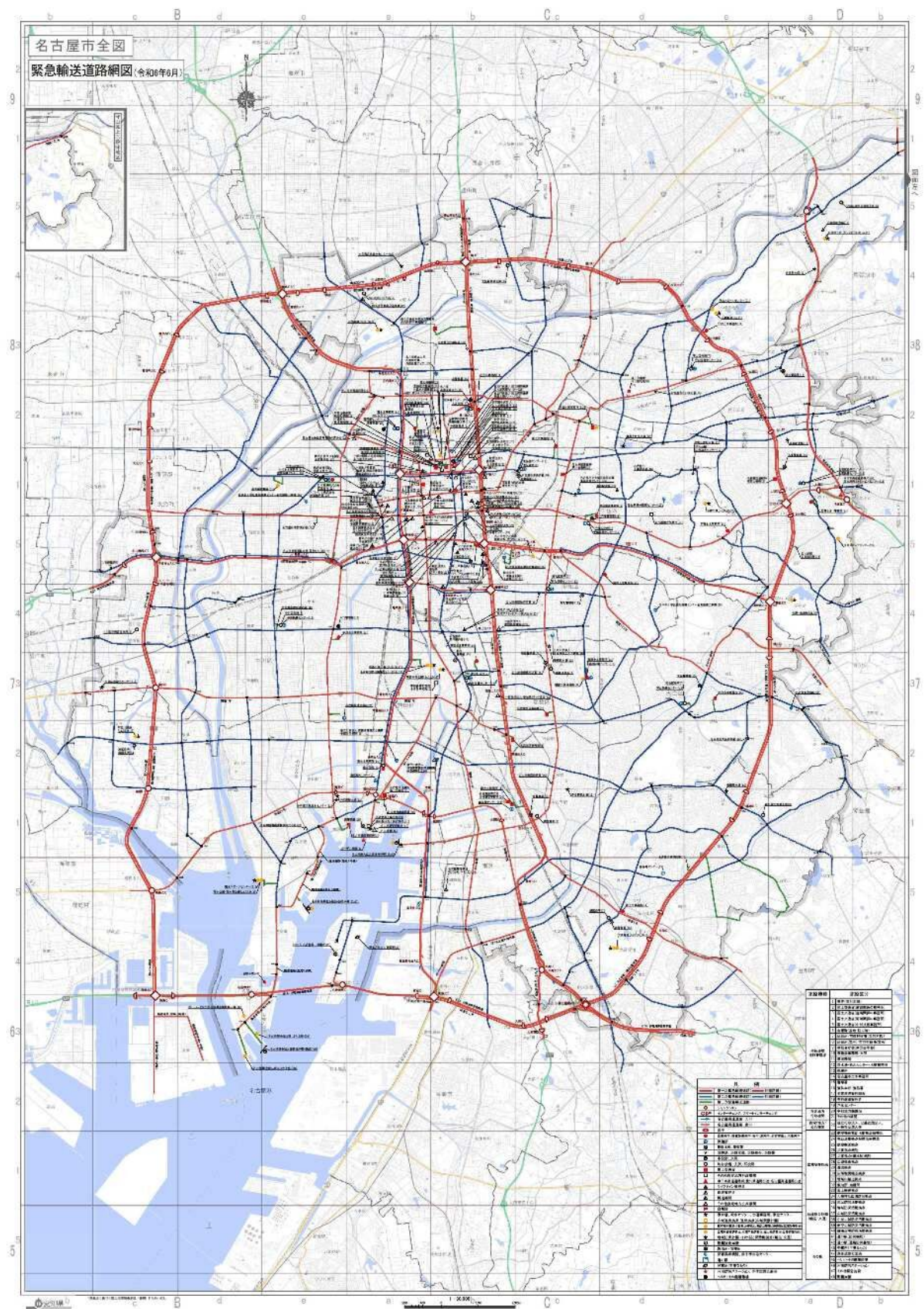


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000（地図画像）を複製したものである。  
（承認番号 平 25 情複、第 831 号）この地図をさらに複製する場合には、国土地理院の長の承認を得ること。

（平成24・25年度東海・東南海・南海三連動地震等の被害想定及び防災・減災対策推進のための調査  
検討業務による）



◎地震編資料 1-19-1 緊急輸送道路網図



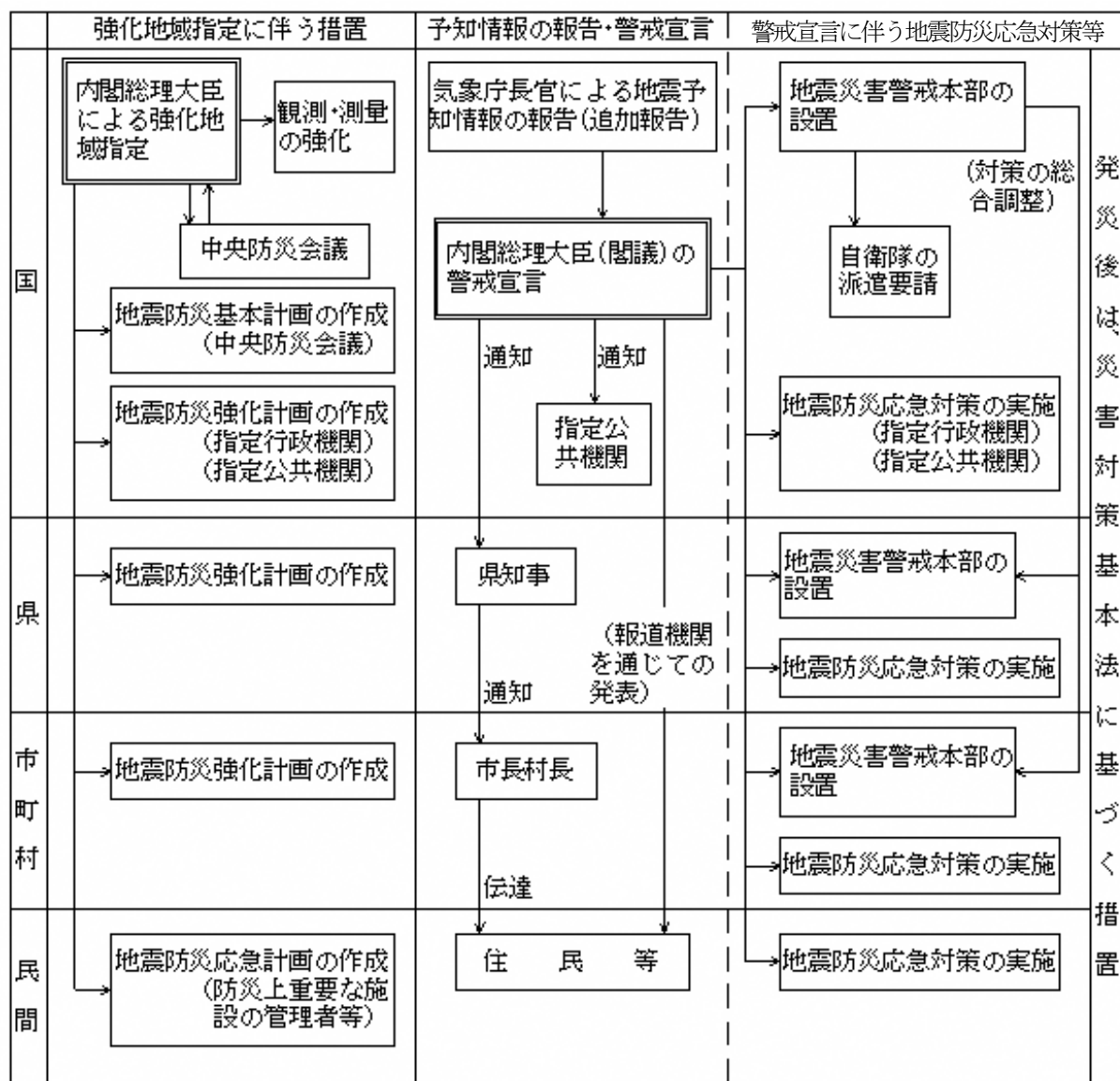
## ■緊急輸送道路ネットワーク延長表【名古屋市】

第 一 次	高速自動車国道	
	一般国道	17.5
	主要地方道	63.5
	一般県道	2.1
	市町村道	6.3
	臨港道路	
	計	89.4
第 二 次	高速自動車国道	
	一般国道	3.0
	主要地方道	115.2
	一般県道	57.4
	市町村道	106.7
	臨港道路	
	計	282.3
第 三 次	高速自動車国道	
	一般国道	
	主要地方道	0.0
	一般県道	2.3
	市町村道	14.4
	臨港道路	
	計	16.7
合 計	高速自動車国道	
	一般国道	20.5
	主要地方道	178.7
	一般県道	61.8
	市町村道	127.4
	臨港道路	
	計	388.4

※単位: km

※四捨五入処理による端数誤差含む

◎地震編資料2-2-1 大規模地震対策特別措置法による措置の体系



◎地震編資料2-11 地震関係ビデオ・DVD一覧 (1/5)

令和7年4月 1 日現在

題 名	上 映 時 間 規 格	対 象	所 管	内 容
我が家の危機 管理①	〃 15 分 DVD	一般	消防局総務 課	●建物の崩壊と家具の転倒防止●家具 の転倒や落下物から身を守る●脱出路 の確保●二次災害を防ぐ●地域での取 り組み 等について解説。
大地震発生！	〃 22 分 VHS	〃	〃	平成 1 9 年 3 月に発生した能登半島地 震など過去の大地震の映像や体験談を 教訓に、迫り来る大地震に備えるも の。
地震に備えて 今、やるべき こと 緊急地震速報 が流れたらど うする	〃 23 分 DVD	〃	〃	新たなシステムである緊急地震速報 や、「高層難民」（高層ビルのエレベ ーターへの閉じ込めなど）、「帰宅困難 者」といった新しい問題をふまえ、地 震対策を分かりやすく示す。
ふせごう ～家具転倒防 止対策～	〃 21 分 DVD	〃	〃	家庭内でできる震災対策として、家具 の転倒防止対策について詳しく解説す る。
まず逃げろ！ 高台へ！ 巨大津波から 命を守る	〃 22 分 DVD	〃	〃	東日本大震災の巨大津波のメカニズム とその被害状況、破壊力を示す実験、 津波体験者の話などを紹介し、津波の 恐ろしさと、素早い避難行動の大切さ を訴える。
防災の備えと 意識 東日本大震災 が 残した教訓 1 0 カ条	〃 22 分 DVD	〃	〃	家具の転倒・落下防止、けがの防止対 策、津波対策、家族の話し合い、非常 持出品の備え、防災知識を身につける 等、自助の取り組み 1 0 カ条を紹介す る。
3.11 東日本大 震災から学ぶ 津波・命を守 る心構え	〃 20 分 DVD	〃	〃	東日本大震災で小中学生が津波から逃 げ切った「釜石の奇跡」はなぜ起きた のか専門家に話を伺う。津波のメカ ニズム、津波から命を守る知恵を伝え ていく。
3.11 東日本大 震災から学ぶ もし今、地震 が起きたら ～命を守る備 えと退避行動 ～	〃 19 分 DVD	〃	〃	東日本大震災の経験も踏まえ、地震発 生時及び緊急地震速報発表時の行動、 事前の備えなど、いま求められる地震 時の心得、地震への備えを考える。
大地震発生！ 東日本大震災・ 阪神淡路大震 災から学ぶ	〃 18 分 DVD	〃	〃	いつ起きても不思議ではない大地震を 考え、地震のメカニズムの紹介、被災 者の体験談から本当に学ぶべき教訓を 探る。



◎地震編資料2-11 地震関係ビデオ・DVD一覧 (2/5)

題 名	上 映 時 間 規 格	対 象	所 管	内 容
あなたの街を襲う大地震 検証・震度6弱・被害軽減・駿河湾の地震	〃 22 分 DVD	〃	消防署総務課	実際に防災対策が減災につながった地域や各家庭の備えや心構えを取材。また東海、東南海、南海地震同時発生時の規模やメカニズム等を紹介。
職場で取り組む 地震対策	〃 19 分 DVD	〃	〃	職場の地震対策の必要性をドラマ形式で紹介。地震対策における役割分担の内容や、避難訓練の方法を分かりやすく紹介。職場の地震対策を訴える。
まず逃げろ！ 高台へ！ 巨大津波から命を守る	22 分 DVD	〃	〃	東日本大震災の巨大津波のメカニズムとその被害状況、破壊力を示す実験、津波体験者の話などを紹介し、津波の恐ろしさと、素早い避難行動の大切さを訴える。
水害発生その時！！ ～命を守る日頃の備え～	〃 22 分 DVD	〃	〃	想定外の大雨による水害に備え、気象庁が流す災害情報の正しい理解、避難時の注意点などを学ぶ。また、居住区の地域特性を理解することを学んでいく。
地震火災から命を守るために	〃 10 分 DVD	〃	〃	一般的な居住環境を再現して、地震に起因して発生した火災を再現した映像を収録し、火災発生の様子と火災の危険性のポイントを専門家が分かりやすく解説する。
地震や津波で死なないために一心に刻む5つのことー	〃 15 分 DVD	〃	〃	地震の説明、家具の転倒防止、寝ている時の備え、津波の説明などを地震学者の大本聖子先生の解説を交えながら紹介している。
問われる住民の防災力 自助・共助の輪を広げよう	〃 22 分 DVD	〃	〃	木造住宅密集地の自主防災組織、津波が予想されている沿岸の自主防災組織などを紹介しながら、大地震に備える自助・共助の大切さを考える。
まず命を守る備え 集合住宅・マンションの防災対策	〃 22 分 DVD	〃	〃	規模の違う2つのマンションの大地震に備える取り組みを紹介しながら、マンション・集合住宅の自主防災活動のあり方を考える。
指定避難所の開設・運営	〃 15 分 DVD	〃	防災危機管理局 地域防災課	指定避難所の開設までの流れや実際の運営方法などを映像を通してわかりやすく解説する。

◎地震編資料2-11 地震関係ビデオ・DVD一覧 (3/5)

題 名	上 映 時 間 規 格	対 象	所 管	内 容
指定避難所の開設・運営ー新型コロナウイルス感染症対策編ー	〃 14 分 DVD	〃	防災危機管理局 地域防災課	避難所における感染症の拡大防止をより効果的に分かりやすく解説する。
コロナ渦における避難行動	〃 3 分 DVD	〃	〃	コロナ渦における避難所での対応及び市民一人ひとりの災害時の行動について分かりやすく解説する。
忍たま乱太郎の地震用心火の用心	〃 11 分 VHS	幼児 小中学生	消防局総務課	乱太郎、きり丸、しんべエの仲良し3人組と忍者学校の土井先生が、火遊びの怖さや防災の大切さを学ぶ。
ちびまる子ちゃんの地震を考えるわが家の防災	〃 13 分 VHS	幼児 小学生	〃	まるちゃんが消防署のお姉さんの話をきっかけに、わが家の防災を考えることで、地震の備えについてわかりやすく描く。
キョロちゃんの地震用心・火の用心	〃 11 分 VHS	〃	〃	キョロちゃんが、青い海と緑のエンゼル島で元気な仲間たちと、地震発生時の身の安全・火の用心の大切さを学ぶ。
はれときどきぶたの地震用心日記	〃 11 分 VHS	〃	〃	主人公・則安くんとその仲間が、日頃の防災訓練の大切さや災害時の行動について学ぶ。
稲むらの火	〃 21 分 VHS	〃	〃	村人を津波から救うため自分の畑に火をつけ、燃える火で村人に異常を知らせて救った庄屋話。
とっところハム太郎のとっところ大事だ!!防災訓練	〃 10 分 VHS	〃	〃	ハム太郎とハムちゃんずが登場し、火の恐ろしさや、防災の大切さをわかりやすく紹介する。
まさかの時!!自分のちからで生きのびられるように	〃 36 分 VHS	小学生	〃	少年少女向けに、天災などに襲われた時自分で生きのびるための工夫を解説。
じしんだ!ミーちゃんのぼうさいくんれん	〃 12 分 VHS	幼児 小学生	〃	大樹(男の子)とミーちゃん(ネコ)が「にゃんにゃん地震防災ランド」へ行き、地震の怖さを経験し、日頃の備えが大切なことを学ぶ。
ぼうさいダック ~自分の身は自分で守ろう~	〃 17 分 VHS	幼児	〃	安心・安全の「最初の一步」を、子供たちが実際に身体を動かし、遊びながら学ぶ、幼児向けの防災教育用カードゲームの説明用ビデオ。
地震への備えが命を守る 緊急地震速報の音声流れたら	〃 21 分 DVD	小学生	〃	学校にいるとき、通学途中、1人で家にいるとき、突然襲うかもしれない大地震に対し、子ども目線でどう備えたらいいのかを考える。



◎地震編資料2-11 地震関係ビデオ・DVD一覧 (4/5)

題 名	上 映 時 間 規 格	対 象	所 管	内 容
サル太郎地震には負けないぞ！地震への備え大作戦	〃 15 分 DVD	幼児 小学生	消防局総務課	幼児期の子どもを対象に、地震に対する正しい知識や心構えを身につけ、防災の基本である自分の命を守る方法を考える。
防災ナマズンの地震はかならずやってくる	〃 20 分 DVD	小学生	港防災センター 消防局総務課	防災ナマズンのDVDを通して、小学生の兄弟が東海地震・東南海地震・南海地震について学ぶが、実感がわからない。しかし、地震は本当に起きてしまった。
あさりちゃんと学ぶ地震への備え	〃 10 分 DVD	幼児 小学生	消防局総務課	あさりちゃんと一緒に地震対策について学ぶ。ストーリー形式で、地震が発生した時の対処法を勉強する。
どう守る？自分の命 東日本大震災から教えられたこと	〃 22 分 DVD	小学生 (中・高学年)	〃	阪神淡路大震災や東日本大震災などを題材に、災害の危険から命を守るには、瞬時にどう判断し、行動したら良いかを具体的に紹介する。
ナンデくんと学ぶ地震と津波を知ろうーじぶんの命を守るため	〃 16 分 DVD	小学生	〃	なぜ地震が起こるのか、なぜ日本は地震が多いのか、なぜ津波は起きるのかの解説から、緊急地震速報、地震発生時の行動までを紹介する。
生きる行動 生きる備え 東日本大震災の教訓	〃 22 分 DVD	中学生 高校生	〃	過去の阪神淡路大震災や東日本大震災にもふれ、災害の危険から命を守るには、瞬時にどう判断し、行動したら良いかを具体的に描く。
あっ 地震だ津波は？自分の命はじぶんでまもる	〃 14 分 DVD	幼児 小学生 (低学年)	〃	子供たちに親しみのもてるサルの兄弟を主人公に、様々な場面で大地震や大津波が発生したらどのように行動をとればよいか、災害から生き抜く力を描く。
じしんがきたらどうする？むしむし村の防災訓練	〃 12 分 DVD	〃	〃	学校での防災訓練を実災害で生かすなど、虫のキャラクターを使った楽しいアニメーションで、地震が起きた時の行動や避難の仕方をわかりやすく解説する。
津波に備える/ 津波から逃げる (2 枚組)	津波に備える 18 分 / 津波から逃げる 17 分 DVD	小中学生	港防災センター	【津波に備える】東日本大震災を踏まえ、津波から命を守るために備えておきたい津波の知識や避難のポイントを、実際の映像やCG、インタビュー等により解説。本編映像の他、津波警報の解説等の資料映像も掲載。 【津波から逃げる】東日本大震災を踏まえて、津波から自ら判断して避難することの大切さをアニメーションを使用し子供にも分かりやすく解説。本編映像の他、津波の実験や避難訓練の様子等の資料映像も掲載。

◎地震編資料2-11 地震関係ビデオ・DVD一覧 (5/5)

題 名	上 映 時 間 規 格	対 象	所 管	内 容
家具の転倒防止・落下防止対策講習ビデオ	〃 24 分 DVD	一般	港防災センター	家庭における家具類の転倒・落下・移動防止する対策を啓発編と実技編に分けて、映像でわかりやすく解説。(消防庁作成)【啓発編】過去の地震における家具類の転倒・落下・移動での被害や対策の概要。【実技編】家具類の転倒・落下・移動対策に関して、具体的に映像で解説。
自分や家族の命を地震から守るために今すぐ！地震対策オフィスを安全に	〃 33 分 DVD	〃	〃	自助力を向上するための諸知識を「家庭編」「事業所編」の2編で解説。家庭編「自分や家族の命を地震から守るために」、事業所編「今すぐ！地震対策オフィスを安全に」
いざという時！どう組み立てる？災害用トイレ	〃 10 分 DVD	〃	〃	名古屋市で備蓄している災害用トイレの種類や組み立て方などを分かりやすく紹介。
助け合いの仕組みづくり 2015 年版	〃 12 分 DVD	〃	〃	災害発生時の地域での助け合いの仕組みづくりについて解説。地域における話し合い、要支援者の把握、個別支援計画作成、訓練の実施など。 (名古屋市作成)
今、この瞬間に起こるかもしれない 南海トラフ巨大地震	〃 23 分 DVD	〃	〃	平成 25 年度に名古屋市が公表した「南海トラフ巨大地震の被害想定」をもとに、地震や津波によって名古屋市に起きると想定される被害をイメージし、日ごろの備えにつなげていくことを学ぶ。
私たちに出来ること～地震災害に備える～	19分 / DVD	子ども ～一般	〃	地震が起きたときの対処 身の守り方 1 7 1 耐震相談 家具固定 消火器の使い方など 名古屋市動画館「まるはっちゅーぶ」でも視聴可能
稲村の火	21分 DVD	〃	〃	村人を津波から救うため自分の畑に火をつけ、燃える火で村人に異常を知らせて救った庄屋話。(上映権付 16mmフィルムをデジタル保存化したもの)



◎地震編資料2-16-1 震災に関する調査研究項目一覧 (1/6)

名古屋市防災会議

調 査 件 名	調 査 概 要	実施年度	備 考
名古屋市地震対策基礎資料図及び同解説編	地震対策上必要な地質、危険物の状況等の諸条件・事項を図面に表した。	47	名城大学助教授 堀内孝英他に委託
地震時における液状化現象に関する調査	名古屋市の西南部から南部及び東南部の軟弱地盤地帯を対象に地震時における地盤の液状化について検討し、その結果を図面に表した。	48	名古屋大学教授 市原松平他に委託
地震時における名古屋地盤の振動特性に関する調査	名古屋におけるモデル地震の推定、名古屋地盤の地質構造モデルの設定、地震波による地盤振動性状の推定、常時微動計測による地盤卓越周期の調査をした。	48	京都大学教授 横尾義貫他に委託
名古屋市内地盤各層中のS波速度測定調査報告 (第1報～第5報)	地震動による直接の災害は地盤と構造物の振動特性と破壊条件の如何によると考えられ、これに最も関与するのが地震S波である。地震時の震害を予想するための情報として、市内地盤各層中の地震S波の速度を測定した。	48～52	名古屋大学名誉教授 愛知工業大学教授 飯田汲事に委託
名古屋の大震災時における避難計画に関する調査 －予備的研究－	大地震火災時における避難計画について、基礎的報告の前段階としての予備的な研究を行った。	48	名古屋工業大学教授 渡辺新三に委託
震災時における避難行動についての心理学的研究 (その1～その3)	人及び動物による実験を通して特殊事態での個人及び集団の行動特性、危急脱出行動について考察し(その1～その3)、これらから危急時における避難行動に適した環境のあり方と具体的な場所における安全性の評価及びそれらの場所での避難時の安全誘導情報のあり方について考察した(その3)。	48～50	名古屋大学教授 内山道明他に委託
名古屋市における既往の地震とその災害	名古屋市域に影響を及ぼしたと考えられる地震の災害について集約し、特に濃尾地震、東南海地震については詳しく震害の分布、震度などを考察した。	48	名古屋大学名誉教授 愛知工業大学教授 飯田汲事に委託
地震時における名古屋市域の木造構造物の被害予想に関する調査研究	木造構造物の力学特性を既往の実験結果等を参照してモデル化し、地震特性、地盤条件を考慮した木造構造物の地震動災害の推定をした。	49	京都大学教授 横尾義貫他に委託

◎地震編資料2-16-1 震災に関する調査研究項目一覧 (2/6)

調 査 件 名	調 査 概 要	実施年度	備 考
伊勢湾における津波の特性	伊勢湾における津波の記録から、その特性や挙動の実態を明らかにし、名古屋における津波の影響を考察した。	49	名古屋大学名誉教授 愛知工業大学教授 飯田汲事に委託
地震時における擁壁の崩壊と地盤の液状化の予想に関する調査	48年度に引き続いて庄内川沿いの沖積地盤地区を対象に地震時における液状化を検討し図面に表わすとともに、既存の擁壁の安定を計算し、地震時における崩壊の予測を行った。	49	名古屋大学教授 市原松平他に委託
避難適地に関する調査	名古屋市が指定した南部5区の広域避難場所が大震火災時の避難場所として適しているかどうかを調査した。	49	名古屋工業大学教授 渡辺新三に委託
名古屋市地震危険度図及び同資料(250mメッシュ・500mメッシュ)	地震災害の危険要因となる沖積層、人口密度、危険物の分布などの項目についてメッシュ図に表した。	49	
名古屋地盤の常時微動に関する調査	名古屋地盤の地震時の振動特性を把握するため、市内140か所で地盤の常時微動を調査した。	50	名古屋大学名誉教授 愛知工業大学教授 飯田汲事他に委託
地震時における道路被害の予測	既往の大地震による道路被害を調査分析した結果に基づいて道路の震害の一般的傾向を示唆した。	50	名古屋大学教授 市原松平他に委託
地震時における橋梁被害の予測	既往の大地震による橋梁構造物の被害状況から、被害の種類、被害の発生メカニズムを分類し、また、既設橋梁構造物の地震による被害判定について検討した。	50	名古屋大学教授 福本考士他に委託
情報連絡体制の確立に関する調査	地震発生時の情報連絡体制を総合的に再検討し、現状を対比し、今後調査を要する事項を整理した。	50	名古屋大学教授 駒井又二に委託
避難適地に関する調査(増補版)	広域避難場所の安全性に関する一般的検討を行い、これに基づいて名古屋市が指定した広域避難場所が大震火災時に避難場所として適しているかどうか検討した。	51	名古屋工業大学教授 渡辺新三他に委託
地震時の地盤・構造物被害推定に関する調査研究	48・49年度の調査報告に加えて、さらに推定の規模を細かくし、地震時における名古屋市域の地盤並びに木造構造物の被害推定をした。	51	京都大学教授 横尾義貫他に委託



◎地震編資料2-16-1 震災に関する調査研究項目一覧 (3/6)

調 査 件 名	調 査 概 要	実施年度	備 考
地震火災の被害想定に関する調査の概要	地盤性状による倒壊危険度から木造家屋の倒壊率を算定し、倒壊数等から出火危険度を求め、地震火災の被害を想定した。	51	名古屋大学名誉教授 愛知工業大学教授 飯田汲事 名古屋工業大学教授 渡辺新三 名古屋大学教授 井関弘太郎 名古屋大学教授 杉山幸男に委託
地震時における名古屋港の繫船岸の被害想定に関する調査	名古屋港の繫船岸について、繫船岸の方向による分類をし、設計震度、地盤の良否を考慮して被害を想定した。	52	名古屋大学教授 市原松平他に委託
昭和19年12月7日 東南海地震による被害住家の分布と地盤条件	昭和19年の東南海地震の被害地域の分布図を作成し、地盤条件との関係を検討した。	52	名古屋大学教授 井関弘太郎に委託
濃尾地震文献目録	濃尾地震に関する絵画、写真、日記、報告、単行本、新聞、研究論文、郷土史等の文献の目録を作成した。	52	(株)パスコに委託 名古屋大学名誉教授 愛知工業大学教授 飯田汲事監修
名古屋地盤の地震波増幅度及び地震危険度	名古屋地盤の地震波（S波）を実測及び推計し、地震波増幅度及び卓越周期など地盤の挙動に関する情報量を求め、名古屋地盤の地震危険度を推定した。	53	名古屋大学名誉教授 愛知工業大学教授 飯田汲事他に委託
鉄筋コンクリート構造物の地震時被害予測のための調査研究	種々のレベルの地震動作用下における地盤条件の変化に伴う鉄筋コンクリート構造物の地震応答性状の影響を検討した。	53	名古屋大学助教授 多賀直恒に委託
既往の大地震による鉄筋コンクリート構造物の地震被害調査	既存の鉄筋コンクリート構造物の耐震安全性判定の一資料として、既往の大地震による鉄筋コンクリート建築物の被害例を系統的に検討、整理した。	53	同 上
地震時における名古屋市の水道管の被害調査（その1～その3）	関東大地震による東京市の水道管の被害分析から定量的な被害予測のための1つのモデルを確立し、このモデルを用いて東海地震を想定した場合の名古屋市の水道管の被害予測をし、地震時の水道管の管体被害個数を推定し、被害の危険度分布を示した。	53～55	名古屋大学名誉教授 和歌山工業高等専門学校長 市原松平他に委託

◎地震編資料2-16-1 震災に関する調査研究項目一覧 (4/6)

調 査 件 名	調 査 概 要	実施年度	備 考
名古屋市に大地震が来た場合の震度想定報告書	名古屋市に大地震が来襲した場合の市内各地域の震度について、過去の大地震及び駿河湾を震源とした地震を想定し、震度分布を1kmメッシュの図面で表した。	53	日本物理探鉱(株)に委託
名古屋地盤の概要及び名古屋地盤図	名古屋地盤の沖積層、洪積層の各層厚の分布、N値の分布、S波速度の分布等について調査し、図面に表した。	54	名古屋大学名誉教授 愛知工業大学教授 飯田汲事他に委託
避難適地に関する調査 (増補版Ⅱ)	指定済の広域避難場所のうち、周辺の状況変化により地震火災時の安全面積が減少したものの見直し及び新規の場所について調査をした。	55	名古屋工業大学名誉教授 名城大学教授 渡辺新三他に委託
避難誘導システムの開発に関する調査研究 (その1・その2)	大震火災時における住民の避難に関して、広域避難場所へ安全に誘導するための避難路の選定と避難の問題点をあげ、避難地に通ずる避難路のネットワーク策定を行った。	55 56	名古屋工業大学名誉教授 名城大学教授 渡辺新三他に委託
名古屋市における地域別被害想定に関する調査研究 (その1～その5)	大地震を想定し、(その1)木造・非木造建物の倒壊、焼失、建物倒壊による被害予測を、(その2)建物の倒壊、危険物等による出火危険などから出火予測を行い、その出火に伴う拡大延焼被害予測を、(その3)東部丘陵地における人工造成地盤の危険度被害予測を、(その4)河川流域等における地盤の液状化の予測などから、地震に伴う河川堤体の破壊などによる浸水被害の予測を、さらに(その5)その1からその4までの調査研究結果を総合して報告した。	55～58	名古屋大学名誉教授 愛知工業大学教授 飯田汲事他に委託
災害時における学区別避難路に関する調査研究	名古屋市に地震災害が発生した場合住民を学区単位で安全に避難させるための避難路及び一時避難場所、広域避難場所までの避難完了時間について検討した。	58	名古屋工業大学名誉教授 名城大学教授 渡辺新三他に委託
地震時における名古屋市の導水管の被害予測調査	東海地震を想定した名古屋市の水道導水管路に対する液状化と耐震性の検討をした。	58	名古屋大学名誉教授 和歌山工業高等専門学校長 市原松平他に委託



◎地震編資料2-16-1 震災に関する調査研究項目一覧 (5/6)

調 査 件 名	調 査 概 要	実施年度	備 考
名古屋地下街防災対策調査	名古屋駅前地下街を対象に地下街が大規模な地震等の災害にみまわれた場合の防災対策を総合的に検討した。	59・60	(社)地域問題研究所に委託
警戒宣言発令後における住民の動向意識調査	東海地震に対する警戒宣言が発令された場合、住民がどのように行動するか、その意識と行動についてアンケート調査を実施し、不適応行動に対する調査、検討をした。	61	〃
防災カルテに関する基礎調査 (その1・その2)	各種の災害対策基礎調査を総合的に評価するため、モデル地区を対象に防災カルテ作成のための基礎調査を実施した。	62 63	〃
避難誘導のあり方の研究	地震火災が発生した場合に住民を安全に避難させるため、モデル地区を対象に避難誘導方法について調査研究した。	平成元	環境科学研究会に委託
地震時における液状化現象の予測に関する調査研究 (その1・その2)	大地震発生時の名古屋市域における地盤の液状化現象の発生予測をするための基礎調査を実施した。	平成2・3	名古屋大学名誉教授 愛知工業大学教授 飯田汲事他に委託
広域避難場所に関する調査研究 (その1・その2)	指定済の広域避難場所の現状把握を行い、広域避難場所毎の診断カルテを作成し、問題点の把握と避難場所選定の基礎調査を実施した。	平成4・5	(株)パスコに委託 名古屋大学名誉教授 愛知工業大学教授 飯田汲事監修
広域避難場所の適地に関する調査報告書	広域避難場所に関する調査研究(平成4・5年)をもとに、新たな広域避難場所の最適地の選定と避難圏域の再設定を行うための調査、検討をした。	平成6	中日本建設コンサルタント(株)に委託 名古屋大学名誉教授 飯田汲事監修
名古屋市地震被害想定調査	阪神・淡路大震災を教訓として実施した名古屋市地域防災計画の改定に伴い計画策定に必要な基礎資料の提供を目的として実施した。	平成7・8	名古屋市防災会議地震対策専門委員会 (委員長 吉田名工大教授) 中日本建設コンサルタント(株)委託
天白河口断層に関する調査	地震防災に関する基礎調査を得るため活断層としてその存在が推定され、詳細が明らかになっていない「天白河口断層」について調査した。	平成8～10	名古屋市断層調査委員会 (委員長 青木名大名誉教授) 国際航業(株)に委託

◎地震編資料2-16-1 震災に関する調査研究項目一覧 (6/6)

調 査 件 名	調 査 概 要	実施年度	備 考
コミュニティ防災カルテに関する調査	各種防災関係情報を一元化し、市民に情報提供するとともに地域の危険度を評価する「防災カルテ」作成のためのシステムづくりについて調査・研究した。	平成9・10	中日本建設コンサルタント(株)委託
名古屋駅前地区地下街地震被害想定調査	地域特性を考慮した地震防災対策の基礎資料とするため、名古屋駅前地区の地下街を対象として大規模地震時の被害想定について調査	平成11・12	名古屋駅前地区地下街地震被害想定調査委員会 (委員長 西名大教授) (株)三菱総合研究所に委託
広域避難場所等の見直し調査	人口データなど社会条件の変化に伴い、平成7年度に指定した広域避難場所を見直す調査を実施した。	平成14	中日本建設コンサルタント(株)に委託
東海地震における警戒宣言発令時の住民行動調査	東海地震の警戒宣言発令時における市民の生活必需品の購買行動を調査し、地震防災強化計画策定の基礎資料とした。	平成14	中日本建設コンサルタント(株)に委託
東海地震等震度分布予測調査	市民の防災意識を高めるため、地震ハザードを作成する基礎資料として東海地震等の震度分布、液状化危険度の予測調査を行った。	平成15	応用地質(株)に委託
東海・東南海・南海三連動地震等の被害想定及び防災・減災対策推進のための調査検討業務	東日本大震災を教訓とし、本市の防災・減災対策の推進を図るため、南海トラフ等で発生する地震について被害想定を行った。	平成24・25	名古屋市地震対策専門委員会(委員長 福和名大教授) 応用地質(株)・(株)三菱総合研究所共同企業体に委託
名古屋市付近に推定されている断層に関する報告書	本市付近に推定されている断層について、これまでの論文等の調査研究、学識経験者からの意見、そして最新の知見などを踏まえた調査を行った。	平成28年度	名古屋市防災会議地震災害対策部会 (専門委員6名) (株)ダイヤコンサルタント中部支社に委託
令和6年能登半島地震を踏まえた地震対策に関する検証報告書	能登半島地震における支援活動から浮彫りとなった課題、被災地で見えた課題等について検証を行い、本市の大規模地震に向けた備えを改めて確認するなどし、今後の本市の災害対策の充実・強化を図るべく実施した。	令和6年度	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)に委託

## ◎地震編資料 3-3-1 地震・津波に関する情報等 (1/12)

### 1 津波警報・注意報、津波情報、津波予報

気象庁本庁は、気象業務法に基づき、その担当予報区ごとの予想される津波の規模について津波警報・注意報を発表する。また、予想される津波の到達時刻や高さ、実際に観測された津波の到達時刻や高さ等を津波情報として発表する。

名古屋地方気象台は、愛知県が属する津波予報区に対して津波警報・注意報が発表された場合に、津波警報・注意報及び津波情報を伝達する。

(津波警報等の種類と発表される津波の高さ等)

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (予想される津波の高さ 予想の区分)	巨大地震の 場合の発表	
大津波警報	予想される津波の最大波の高さが高いところで3mを超える場合	10m 超 (10m<予想される津波の高さ)	巨大	(巨大) 木造家屋が全壊・流出し、人は津波による流れに巻き込まれる。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や津波避難ビルなど安全な場所へ避難する。警報が解除されるまで安全な場所から離れない。
		10m (5m<予想される津波の高さ≤10m)		
		5m (3m<予想される津波の高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の最大波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合	3m (1m<予想される津波の高さ≤3m)	高い	(高い) 標高の低いところでは津波が遅い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や津波避難ビルなど安全な場所へ避難する。警報が解除されるまで安全な場所から離れない。
津波注意報	予想される津波の最大波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合	1m (0.2m≤予想される津波の高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流出し小型船舶が転覆する。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れる。海水浴や磯釣りは危険なので行わない。注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしない。

\*大津波警報を「特別警報」に位置づけている。

注)「津波の高さ」とは、津波によって潮位が高くなった時点における潮位と、その時点で津波がなかったとした場合の潮位との差であって、津波によって潮位が上昇した高さをいう。

- ・沿岸に近い海域で大きな地震が発生した場合、津波警報等の発表が津波の襲来に間に合わない場合がある。
- ・津波警報等は、精査した地震の規模や実際に観測した津波の高さを基に、更新する場合もある。
- ・津波による災害のおそれがなくなったと認められる場合、津波警報等の解除を行う。このうち、津波の観測状況等により、津波がさらに高くなる可能性は小さいと判断した場合には、津波の高さが津波注意報の発表基準未満となる前に、海面変動が継続することや留意事項を付して解除を行う場合がある。



◎地震編資料 3-3-1 地震・津波に関する情報等 (2/12)

(津波情報の種類)

種類	内容
津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報	各津波予報区の津波の到達予想時刻や予想される津波の高さ（発表内容は津波警報・注意報の種類の表に記載）を発表 ※この情報で発表される到達予想時刻は、各津波予報区でもっとも早く津波が到達する時刻である。場所によっては、この時刻よりも1時間以上遅れて津波が襲ってくることもある。津波の高さは、一般的に地形の影響等のため場所によって大きく異なることから、局所的に予想される津波の高さより高くなる場合がある
各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報	主な地点の満潮時刻・津波の到達予想時刻を発表 ※津波と満潮が重なると、潮位の高い状態に津波が重なり、被害がより大きくなる場合がある。
津波観測に関する情報	沿岸で観測した津波の時刻や高さを発表（※1） ※津波による潮位変化（第一波の到達）が観測されてから最大波が観測されるまでに数時間以上かかることがある。場所によっては、検潮所で観測した津波の高さよりも更に大きな津波が到達しているおそれがある。
沖合の津波観測に関する情報	沖合で観測した津波の時刻や高さ、及び沖合の観測値から推定される沿岸での津波の到達時刻や高さを津波予報区単位で発表（※2） ※津波の高さは、沖合での観測値に比べ、沿岸ではさらに高くなる。津波は非常に早く伝わり、「沖合の津波観測に関する情報」が発表されてから沿岸に津波が到達するまで5分とかからない場合もある。また、地震の発生場所によっては、情報の発表が津波の到達に間に合わない場合もある。

(※1) 津波観測に関する情報の発表内容について

- ・沿岸で観測された津波の第1波の到達時刻と押し引き、及びその時点までに観測された最大波の観測時刻と高さを発表する。
- ・最大波の観測値については、大津波警報又は津波警報を発表中の津波予報区において、観測された津波の高さが低い間は、数値ではなく「観測中」の言葉で発表し、津波が到達中であることを伝える。

(※2) 沖合の津波観測に関する情報の発表内容について

- ・沖合で観測された津波の第1波の観測時刻と押し引き、その時点までに観測された最大波の観測時刻と高さを観測点ごとに発表する。また、これら沖合の観測値から推定される沿岸での推定値（第1波の推定到達時刻、最大波の推定到達時刻と推定される高さ）を津波予報区単位で発表する。
- ・最大波の観測値及び推定値については、沿岸での観測と同じように避難行動への影響を考慮し、一定の基準を満たすまでは数値を発表しない。大津波警報又は津波警報が発表中の津波予報区において、沿岸で推定される津波の高さが低い間は、数値ではなく「観測中」（沖合での観測値）及び「推定中」（沿岸での推定値）の言葉で発表して、津波が到達中であることを伝える。
- ・沿岸からの距離が100 kmを超えるような沖合の観測点では、津波予報区との対応付けが難しいため、沿岸での推定値は発表しない。また、最大波の観測値については数値ではなく「観測中」の言葉で発表して、津波が到達中であることを伝える。

◎地震編資料 3-3-1 地震・津波に関する情報等 (3/12)

(最大波の観測値の発表内容)

警報・注意報の発表状況	観測された津波の高さ	内 容
大津波警報	1m超	数値で発表
	1m以下	「観測中」と発表
津波警報	0.2m以上	数値で発表
	0.2m未満	「観測中」と発表
津波注意報	(すべての場合)	数値で発表（津波の高さがごく小さい場合は「微弱」と表現）

沖合で観測された津波の最大波（観測値及び沿岸での推定値※）の発表内容

発表中の津波警報等	沿岸で推定される津波の高さ	発表内容
大津波警報	3m超	沖合での観測値、沿岸での推定値ともに数値で発表
	3m以下	沖合での観測値を「観測中」、沿岸での推定値を「推定中」と発表
津波警報	1m超	沖合での観測値、沿岸での推定値ともに数値で発表
	1m以下	沖合での観測値を「観測中」、沿岸での推定値を「推定中」と発表
津波注意報	(すべての場合)	沖合での観測値、沿岸での推定値ともに数値で発表

津波予報

	発表基準	発表内容
津波予報	津波が予想されないとき (地震情報に含めて発表)	津波の心配なしの旨を発表
	0.2m 未満の海面変動が予想されたとき	高いところでも 0.2m 未満の海面変動のため被害の心配はなく、特段の防災対応の必要がない旨を発表
	津波注意報解除後も海面変動が継続するとき	津波に伴う海面変動が観測されており、今後も継続する可能性が高いため、海に入っの作業や釣り、海水浴などに際しては十分な留意が必要である旨を発表

2 津波予報区

日本の沿岸は 66 の津波予報区に分けられている。その内、愛知県が属する津波予報区は、以下の通りである。

愛知県が属する津波予報区

津波予報区の名称	津 波 予 報 区 域	津波予報区域に属する愛知県の市町村
愛知県外海	愛知県（伊良湖岬西端以東の太平洋沿岸に限る。）	豊橋市、田原市
伊勢・三河湾	愛知県（伊良湖岬西端以東の太平洋沿岸を除く。）  三重県（伊勢市以南を除く。）	名古屋市、豊橋市、半田市、豊川市、碧南市、刈谷市、西尾市、蒲郡市、常滑市、東海市、知多市、高浜市、田原市、弥富市、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、飛島村 （三重県の市町村は省略）



愛知県及び周辺の県が属する津波予報区

### 3 地震情報

#### (1) 緊急地震速報

緊急地震速報は地震の発生直後に、震源に近い地震計でとらえた観測データを解析して震源や地震の規模（マグニチュード）を直ちに推定し、これに基づいて各地での主要動の到達時刻や震度を予測し、可能な限り素早く知らせる地震動の予報・警報である。最大震度5弱以上、または長周期地震動階級3以上の揺れが予想された場合に、震度4以上、または長周期地震動階級3以上が予想される地域（以下の緊急地震速報で用いる区域の名称）に対し、緊急地震速報（警報）を発表する。また、最大震度3以上又はマグニチュード3.5以上若しくは長周期震度階級1以上等と予想されたときに、緊急地震速報（予報）を発表する。

なお、緊急地震速報（警報）のうち震度6弱以上または長周期地震動階級4の揺れが予想される場合のものを特別警報に位置付けている。



◎地震編資料3-3-1 地震・津波に関する情報等 (5/12)

区域の名称			区域に含まれる市町村
【地方単位】	【都道府県単位】	【地域単位】	
東海	愛知県	愛知県東部	豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、北設楽郡〔設楽町、東栄町、豊根村〕
		愛知県西部	名古屋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、みよし市、あま市、長久手市、愛知郡〔東郷町〕、西春日井郡〔豊山町〕、丹羽郡〔大口町、扶桑町〕、海部郡〔大治町、蟹江町、飛島村〕、知多郡〔阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町〕、額田郡〔幸田町〕

【地方単位】 【都道府県単位】 【地域単位】 で緊急地震速報を発表する。

注) 緊急地震速報(警報)は、地震発生直後に震源に近い観測点で観測された地震波を解析することにより、地震による強い揺れが来る前に、これから強い揺れが来ることを知らせる警報である。このため、震源付近では強い揺れの到達に間に合わない場合がある。また、少ない観測点での短時間の観測データから地震の規模や震源を推定し、各地の震度等を予想するため、予想震度は±1階級程度の誤差を伴うなど、精度が十分でない場合がある。

緊急地震速報を見聞きした場合にとるべき行動について

緊急地震速報が発表されてから強い揺れが来るまではわずかな時間しかないため、緊急地震速報を見聞きした時は、まずは自分の身の安全を守る行動をとる必要がある。取るべき行動は以下のとおり。

入手場所	とるべき行動の具体例
自宅等屋内	頭を保護し、大きな家具からは離れ、丈夫な机の下等に隠れる。 <注意> ・あわてて外へ飛び出さない。 ・その場で火を消せる場合は火の始末、火元から離れている場合は無理して消火しない。 ・扉を開けて避難路を確保する。
駅やデパート等の集客施設	館内放送や係員の指示がある場合は、落ち着いてその指示に従い行動する。 <注意> ・あわてて出口・階段等に殺到しない。 ・吊り下がっている照明等の下からは退避する。
街等屋外	ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒に注意し、これらのそばから離れる。 ビルからの壁、看板、割れたガラスの落下に備え、ビルのそばから離れる。 丈夫なビルのそばであればビルの中に避難する。

◎地震編資料3-3-1 地震・津波に関する情報等 (6/12)

車の運転中	<p>後続の車が情報を聞いていないおそれがあることを考慮し、あわててスピードを落とすことはしない。</p> <p>ハザードランプを点灯する等して、まわりの車に注意を促したのち、急ブレーキは踏まずに、緩やかにスピードを落とす。大きな揺れを感じたら、急ハンドル、急ブレーキをさける等、できるだけ安全な方法により道路の左側に停止させる。</p>
-------	---

(2) 名古屋地方気象台が伝達・発表する地震情報等は以下のとおりである。

地震に関する情報の種類

地震情報の種類	発表基準	内容
震度速報	・震度 3 以上	地震発生約 1 分半後に、震度 3 以上を観測した地域名（全国を 188 地域に区分）と地震の揺れの検知時刻を速報。
震源に関する情報	・震度 3 以上 (津波警報または津波注意報を発表した場合は発表しない)	「津波の心配がない」または「若干の海面変動があるかもしれないが被害の心配はない」旨を付加して、地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）を発表。
震源・震度情報	・震度 1 以上 ・津波警報・注意報発表または若干の海面変動が予想された時 ・緊急地震速報（警報）を発表した場合	地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）、震度 1 以上を観測した地点と観測した震度を発表。それに加えて、震度 3 以上を観測した地域名と市町村毎の観測した震度を発表。 震度 5 弱以上と考えられる地域で、震度を入手していない地点がある場合は、その市町村名を発表。
推計震度分布図	・震度 5 弱以上	観測した各地の震度データをもとに、250m 四方ごとに推計した震度（震度 4 以上）を図情報として発表。
長周期地震動に関する観測情報	・震度 1 以上を観測した地震のうち長周期地震動階級 1 以上を観測した場合	地域毎の震度の最大値・長周期地震動階級の最大値のほか、個別の観測点毎に、長周期地震動階級や長周期地震動の周期別階級等を発表（地震発生から約 10 分後程度で 1 回発表）。

◎地震編資料3-3-1 地震・津波に関する情報等 (7/12)

遠地地震に関する情報	<p>国外で発生した地震について以下のいずれかを満たした場合等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マグニチュード7.0以上</li> <li>・都市部等、著しい被害が発生する可能性がある地域で規模の大きな地震を観測した場合※</li> </ul> <p>※国外で発生した大規模噴火を覚知した場合にも発表することがある。</p>	<p>地震の発生時刻、発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）を概ね30分以内に発表。</p> <p>日本や国外への津波の影響に関しても記述して発表。※</p> <p>※国外で発生した大規模噴火を覚知した場合は噴火発生から1時間半～2時間程度で発表</p>
その他の情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顕著な地震の震源要素を更新した場合や地震が多発した場合など</li> </ul>	<p>顕著な地震の震源要素更新のお知らせや地震が多発した場合の震度1以上を観測した地震回数情報等を発表。</p>

4 名古屋市内の震度観測点一覧表

平成31年3月14日現在

震度観測点名称	震度観測点名称読み	観測点所在地
名古屋千種区日和町	ナゴヤチカヒヨチヨウ	名古屋市千種区日和町2-18（名古屋地方気象台）
名古屋東区筒井	ナゴヤヒカシツツイ	名古屋市東区筒井1-8-30（東消防署）敷地内
名古屋北区萩野通	ナゴヤチカキノトノリ	名古屋市北区萩野通2-1（北消防署）敷地内
名古屋西区八筋町	ナゴヤニシヤスジチヨウ	名古屋市西区八筋町56（西消防署山田出張所）敷地内
名古屋中村区大宮町	ナゴヤナカムラキオミチヨウ	名古屋市中村区大宮町1-53（中村消防署）敷地内
名古屋中市区役所	ナゴヤナカシヤクシヨ	名古屋市中区三の丸3-1-1（名古屋市役所）敷地内
名古屋中区県庁	ナゴヤナカケンチヨウ	名古屋市中区三の丸2-4-1（愛知県庁西庁舎）敷地内
名古屋昭和区阿由知通	ナゴヤショウワクアユチトノリ	名古屋市昭和区阿由知通3-19（昭和区役所）敷地内
名古屋瑞穂区塩入町	ナゴヤミズホクシイリチヨウ	名古屋市瑞穂区塩入町13-11（瑞穂消防署堀田出張所）敷地内
名古屋熱田区一番	ナゴヤアツタキイチバン	名古屋市熱田区一番2-42-2（熱田消防署船方出張所）敷地内
名古屋中川区東春田	ナゴヤナカガワキヒガシハルタ	名古屋市中川区東春田2-41（中川消防署富田出張所）敷地内
名古屋港区金城ふ頭	ナゴヤミナトキンジヨウフウ	名古屋市港区金城ふ頭1-1-3（本部機動部隊第五庁舎）敷地内
名古屋港区春田野	ナゴヤミナトハルタノ	名古屋市港区春田野2-2904（港消防署南陽出張所）敷地内
名古屋港区善進本町	ナゴヤミナトセブンシンホンマチ	名古屋市港区善進本町72-2（港消防署荒子川出張所）敷地内
名古屋南区鳴尾	ナゴヤミナミナルオ	名古屋市南区鳴尾1-79（南消防署星崎出張所）敷地内
名古屋守山区下志段味	ナゴヤモリヤマクシメンダミ	名古屋市守山区桜坂5丁目114（守山消防署志段味出張所）敷地内
名古屋守山区西新	ナゴヤモリヤマニシシン	名古屋市守山区西新11-8（守山消防署）敷地内
名古屋緑区有松町	ナゴヤキナドリクアリマツチヨウ	名古屋市緑区有松町大字桶狭間字生山48-27
名古屋名東区名東本町	ナゴヤメイトウクメイトホンマチ	名古屋市名東区名東本町162（名東消防署星ヶ丘出張所）敷地内
名古屋天白区島田	ナゴヤテンバクシマダ	名古屋市天白区島田2-201（天白区役所）敷地内



◎地震編資料3-3-1 地震・津波に関する情報等 (8/12)

5 地震活動に関する解説資料等

解説資料等の種類	発表基準	内容
地震解説資料 (全国速報版・地域速報版)	以下のいずれかを満たした場合に、一つの現象に対して一度だけ発表 ・津波警報 ・注意報発表時（遠地地震による発表時除く） ・(担当地域で) 震度4以上を観測 （ただし、地震が頻発している場合、その都度の発表はしない。）	地震発生後 30 分程度を目途に、地方公共団体が初動期の判断のため、状況把握等に活用できるように、地震の概要、震度や長周期地震動階級に関する情報、津波警報や津波注意報等の発表状況等、及び津波や地震の図情報を取りまとめた資料。 ・地震解説資料（全国速報版） 上記内容について、全国の状況を取りまとめた資料。 ・地震解説資料（地域速報版） 上記内容について、発表基準を満たした都道府県別に取りまとめた資料。
地震解説資料 (全国詳細版・地域詳細版)	以下のいずれかを満たした場合に発表するほか、状況に応じて必要となる続報を適宜発表 ・ <u>大津波警報</u> 、津波警報・注意報発表時 ・(担当地域で) 震度5弱以上を観測する地震が発生 ・社会的に関心の高い地震が発生	地震発生後 1 ～ 2 時間を目途に第 1 号を発表する。 ・地震解説資料（全国詳細版） 地震や津波の特徴を開設するため、防災上の留意事項やその後の地震活動の見通し、津波や長周期地震動の観測状況、緊急地震速報の発表状況、周辺の地域の過去の地震活動など、より詳しい条項等を取りまとめた資料。 ・地震解説資料（地域詳細版） 地震解説資料（全国詳細版）発表以降に状況に応じて必要となる続報を適宜発表するとともに、状況に応じて適切な解説を加えることで、防災対応を支援する資料（地域の地震活動状況に応じて、単独で提供されることもある）
愛知県地震概況	・定期（毎月初旬）	地震・津波に係る災害予想図の作成、その他防災に係る活動を支援するために、毎月の愛知県内及びその周辺の地震活動の状況を取りまとめた地震活動の傾向等を示す資料。

◎地震編資料3-3-1 地震・津波に関する情報等 (9/12)

(1) 発表

大津波警報・津波警報・津波注意報

〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分 気象庁発表

\*\*\*\*\* 見出し \*\*\*\*\*

大津波警報・津波警報を発表しました。

ただちに避難してください。

<大津波警報>

静岡県

<津波警報>

愛知県外海、三重県南部

\*\*\*\*\* 本文 \*\*\*\*\*

\$印は優先度の高い重要な情報を示す記号です。

大津波警報を発表した沿岸は次のとおりです。

<大津波警報>

\$ \* 静岡県

津波警報を発表した沿岸は次のとおりです。

<津波警報>

◎地震編資料3-3-1 地震・津波に関する情報等 (10/12)

愛知県外海、三重県南部

津波注意報を発表した沿岸は次のとおりです。

＜津波注意報＞

伊勢・三河湾、相模湾・三浦半島

以下の沿岸（上記の＊印で示した沿岸）ではただちに津波が来襲すると予想されます。

静岡県

\*\*\*\*\* 解説 \*\*\*\*\*

＜大津波警報＞

大きな津波が襲い甚大な被害が発生します。

沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。

津波は繰り返し襲ってきます。警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

＜津波警報＞

津波による被害が発生します。

沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。

津波は繰り返し襲ってきます。警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

＜津波注意報＞

海の中や海岸付近は危険です。

海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

潮の流れが速い状態が続きますので、注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないようにしてください。

\*\*\*\*\* 震源要素の速報 \*\*\*\*\*

[震源、規模]

〇〇日〇〇時〇〇分頃地震がありました。

震源地は、〇〇（北緯〇〇.〇度、東経〇〇〇.〇度、〇〇の〇〇km 付近）で、震源の深さは約〇km、地震の規模（マグニチュード）は〇.〇と推定されます。

(2) 津波警報から津波注意報に切替え及び一部の津波予報区について解除

津波注意報

〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分 気象庁発表

\*\*\*\*\* 見出し \*\*\*\*\*

津波注意報に切り替えました。

\*\*\*\*\* 本文 \*\*\*\*\*

大津波警報から津波注意報へ切り替えた沿岸は次のとおりです。

＜大津波警報から津波注意報への切り替え＞

静岡県

津波警報から津波注意報へ切り替えた沿岸は次のとおりです。

＜津波警報から津波注意報への切り替え＞

愛知県外海、三重県南部



津波注意報を解除した沿岸は次のとおりです。

<津波注意報>

伊勢・三河湾、相模湾・三浦半島

今後若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありません。

詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照してください。

\*\*\*\*\* 発表状況 \*\*\*\*\*

現在津波注意報を発表している沿岸は次のとおりです。

<津波注意報>

静岡県、愛知県外海、三重県南部

\*\*\*\*\* 解説 \*\*\*\*\*

<津波注意報>

海の中や海岸付近は危険です。

海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

潮の流れが速い状態が続きますので、注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないようにしてください。

<津波予報（若干の海面変動）>

若干の海面変動が予想されますが、被害の心配はありません。

\*\*\*\*\* 震源要素の速報 \*\*\*\*\*

[震源、規模]

〇〇日〇〇時〇〇分頃地震がありました。

震源地は、〇〇（北緯〇〇.〇度、東経〇〇〇.〇度、〇〇の〇〇km 付近）で、震源の深さは約〇km、地震の規模（マグニチュード）は〇.〇と推定されます。

### (3) 津波注意報を全面解除（注意喚起解除）

津波警報・津波注意報

〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分 気象庁発表

\*\*\*\*\* 見出し \*\*\*\*\*

津波注意報を解除しました。

\*\*\*\*\* 本文 \*\*\*\*\*

津波注意報を解除した沿岸は次のとおりです。

静岡県、愛知県外海、三重県南部

今後もしばらく海面変動が続くと思われますので、海水浴や磯釣り等を行う際は注意してください。

詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照してください。

\*\*\*\*\* 発表状況 \*\*\*\*\*

現在大津波警報・津波警報・注意報を発表している沿岸はありません。

\*\*\*\*\* 解説 \*\*\*\*\*

<津波予報（若干の海面変動）>

若干の海面変動が予想されますが、被害の心配はありません。

\*\*\*\*\* 震源要素の速報 \*\*\*\*\*

[震源、規模]

◎地震編資料3-3-1 地震・津波に関する情報等 (12/12)

〇〇日〇〇時〇〇分頃地震がありました。

震源地は、〇〇（北緯〇〇.〇度、東経〇〇〇.〇度、〇〇の〇〇km 付近）で、  
震源の深さは約〇km、地震の規模（マグニチュード）は〇.〇と推定されます。